

DTP作業を楽にする スクリプト入門

たけうちとおる



株式会社

遊文舎

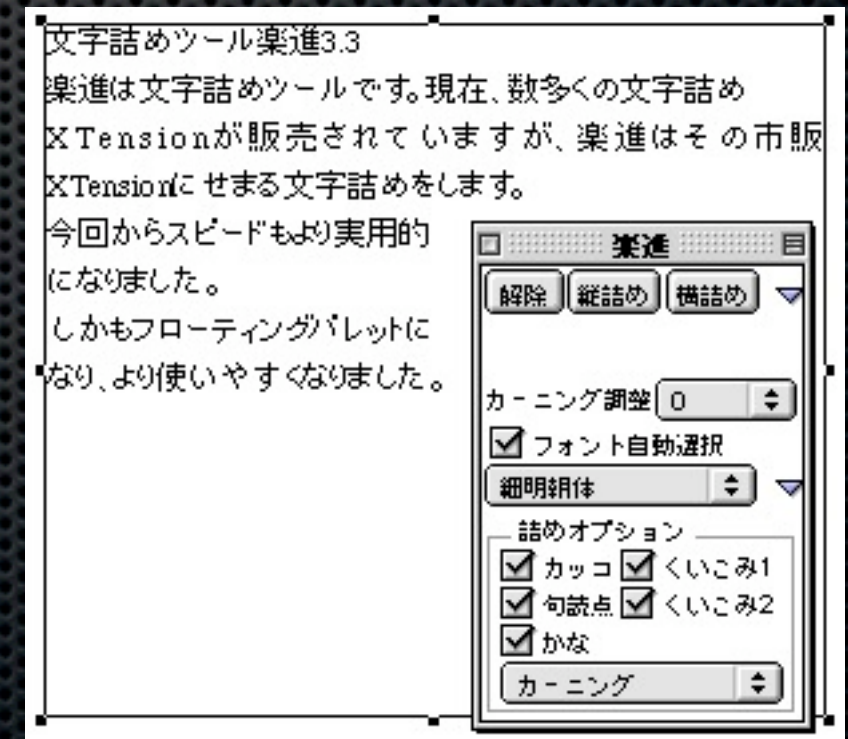
はじめに（自己紹介）

はじめに（自己紹介）

- たけうちとおるです
- 以前は
- QXPの文字ツメツール楽進とか
- シェアウェアを出していました。

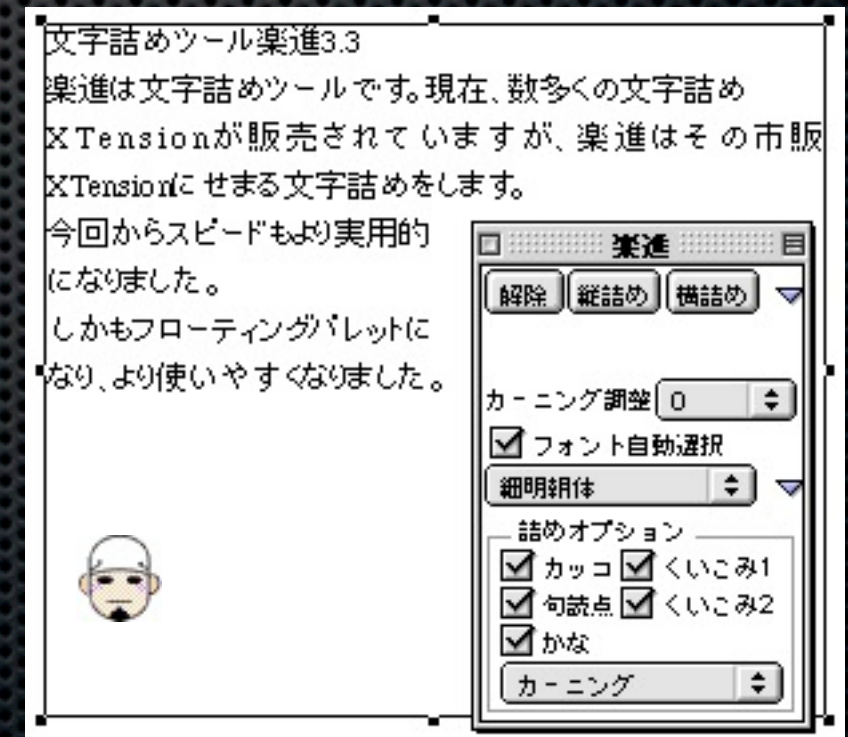
はじめに（自己紹介）

- たけうちとおるです
- 以前は
- QXPの文字ツメツール楽進とか
- シェアウェアを出していました。



はじめに（自己紹介）

- たけうちとおるです
- 以前は
- QXPの文字ツメツール楽進とか
- シェアウェアを出していました。



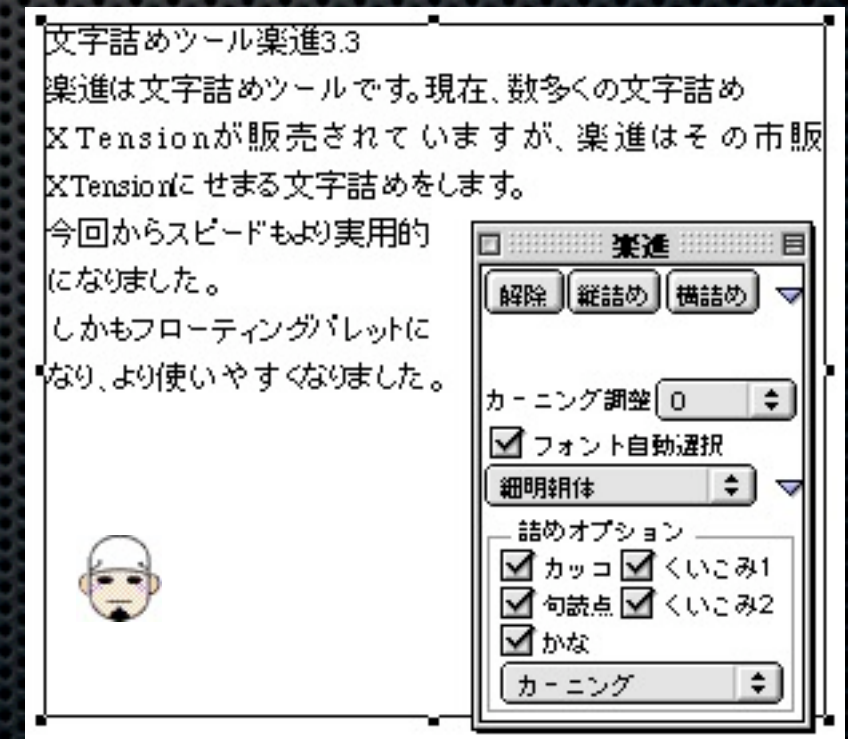
はじめに（自己紹介）

- たけうちとおるです
- 以前は
- QXPの文字ツメツール楽進とか
- シェアウェアを出していました。



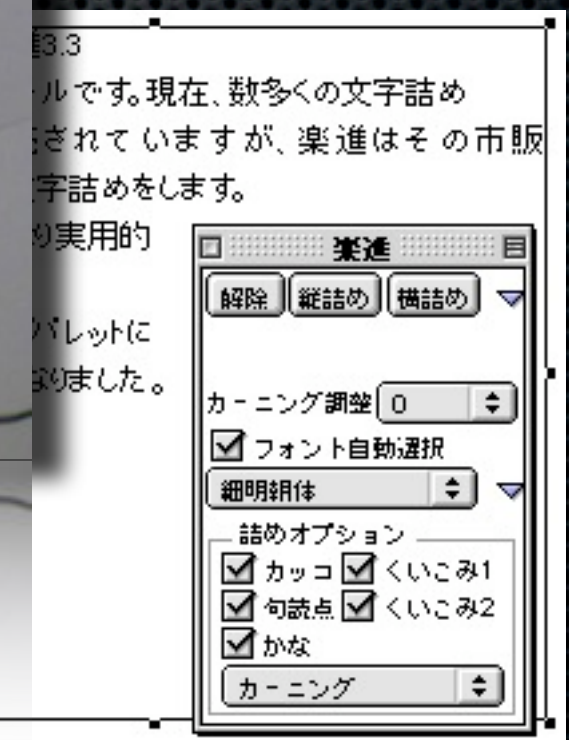
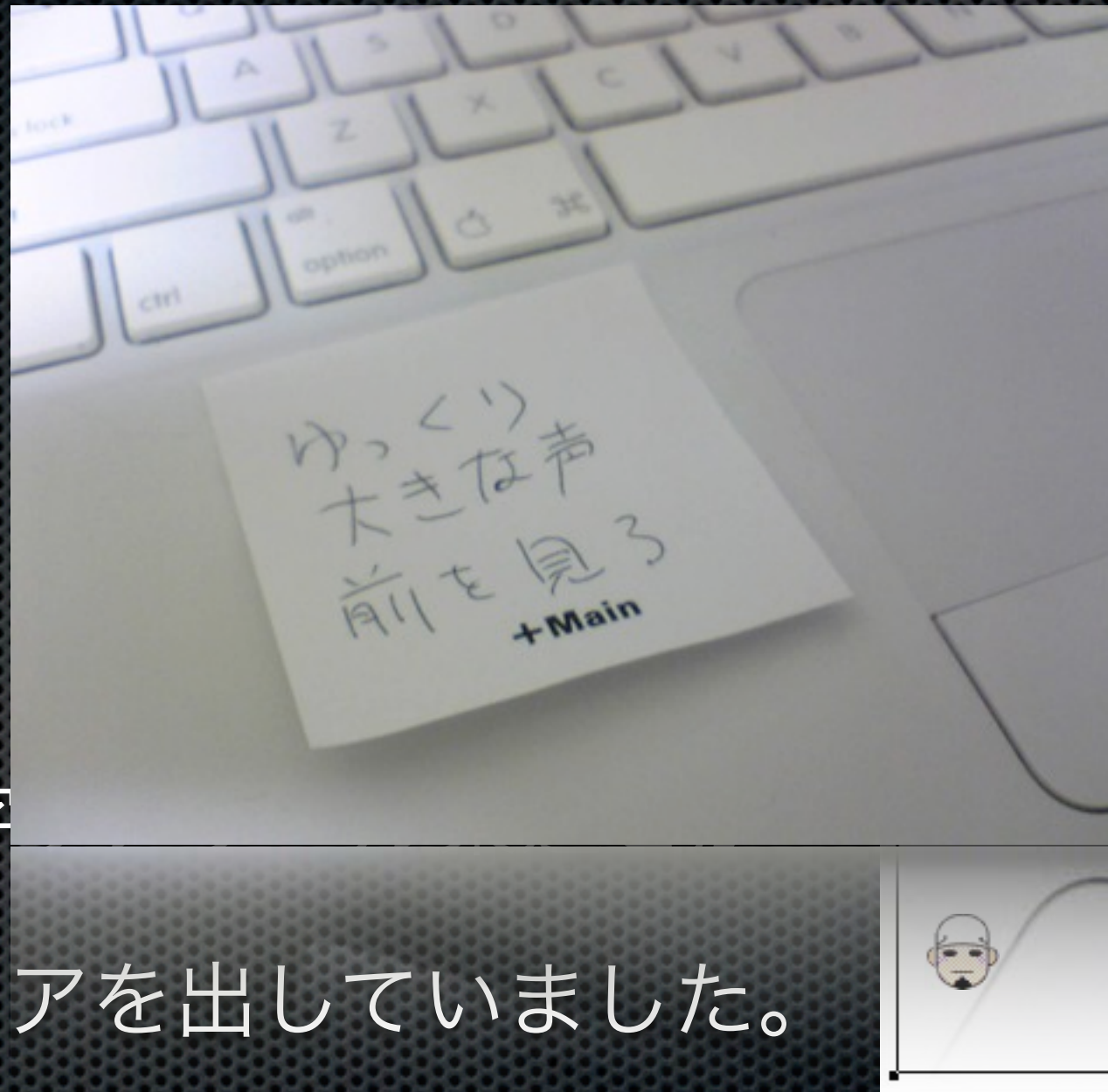
はじめに（自己紹介）

- たけうちとおるです
- 以前は
- QXPの文字ツメツール楽進とか
- シェアウェアを出していました。



はじめに（自己紹介）

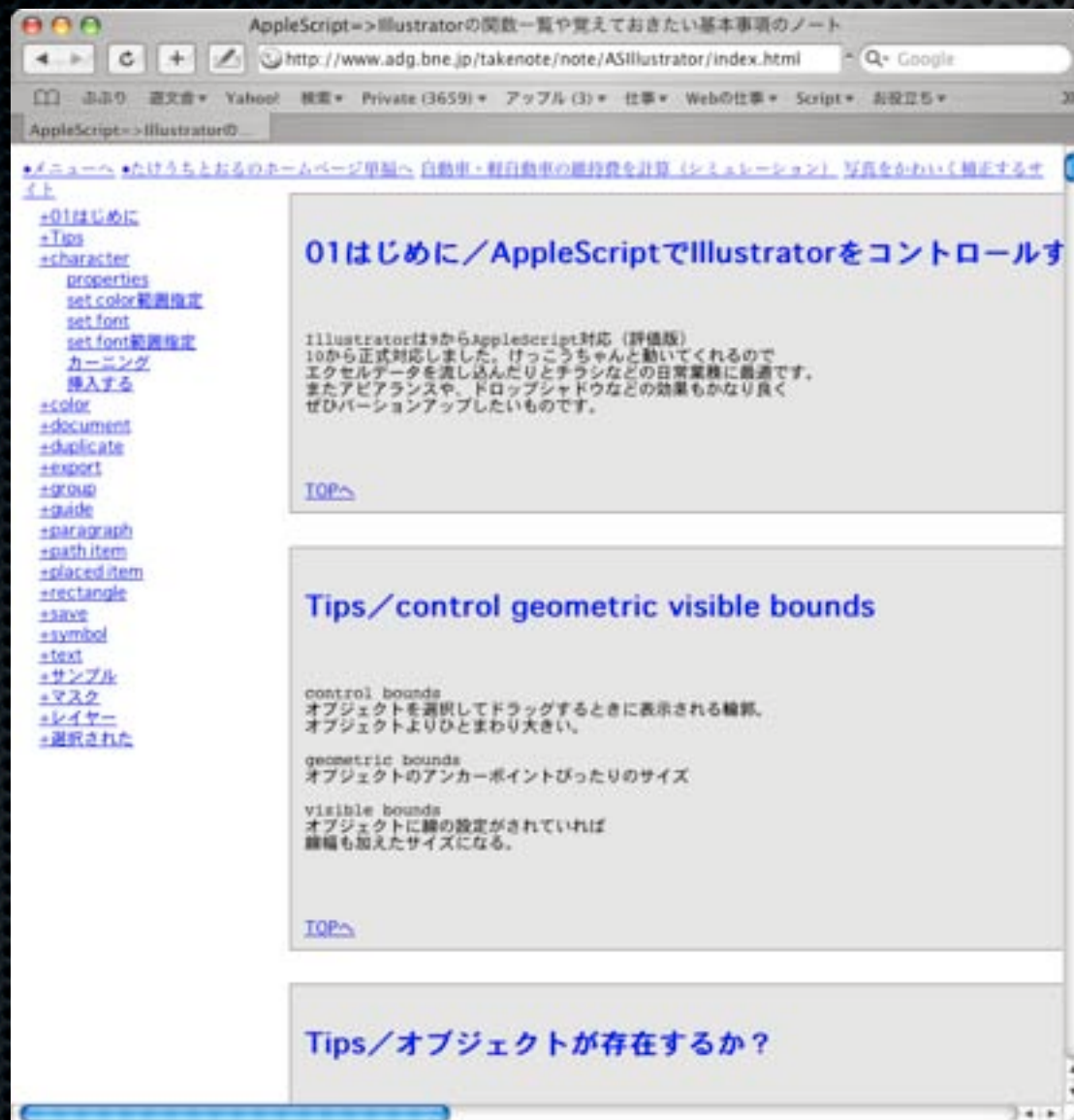
- たけうちと
- 以前は
- QXPの文字
- シェアウェアを出していました。



最近はスクリプトノートとか

ブログとかやっています。

http://www.adg7.com/takenote_b/



この勉強会のために前回の勉強会（3/7）からスクリプトをブログ
にアップし続けて

 JS  AS  else

この勉強会のために前回の勉強会（3/7）からスクリプトをブログ
にアップし続けて

 JS  AS  else

InDesign :27

この勉強会のために前回の勉強会（3/7）からスクリプトをブログ
にアップし続けて

 JS  AS  else

InDesign :27

Illustrator :18

この勉強会のために前回の勉強会（3/7）からスクリプトをブログ
にアップし続けて

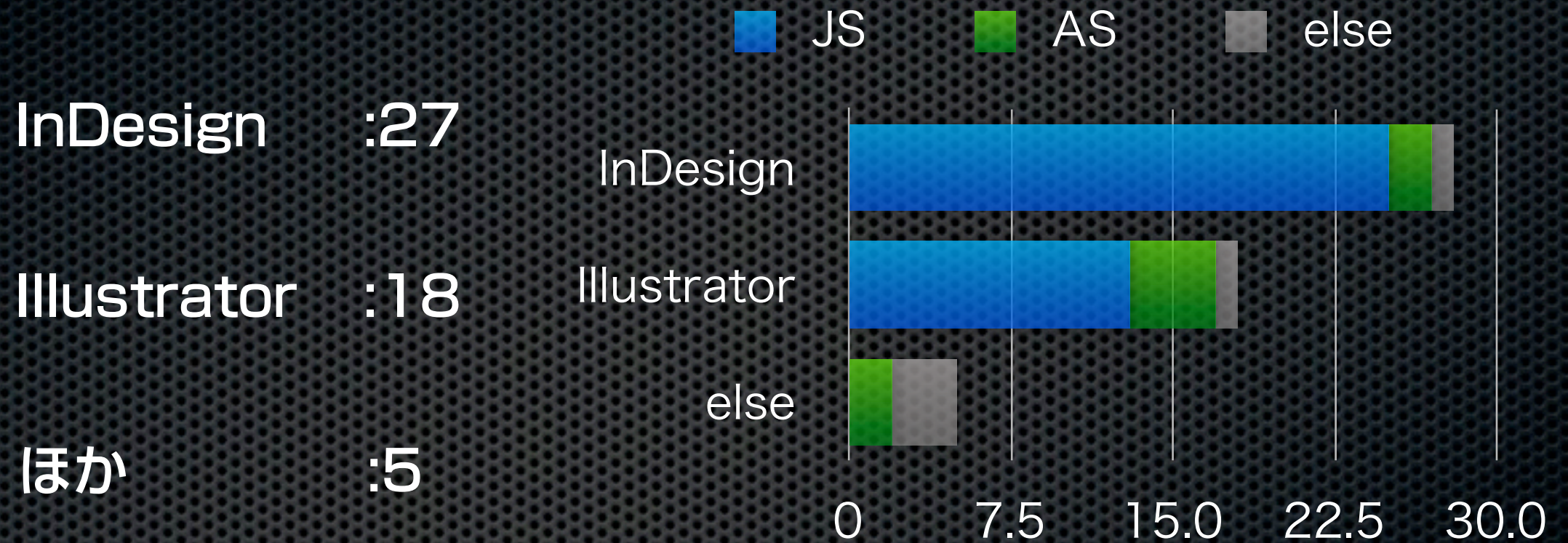
 JS  AS  else

InDesign :27

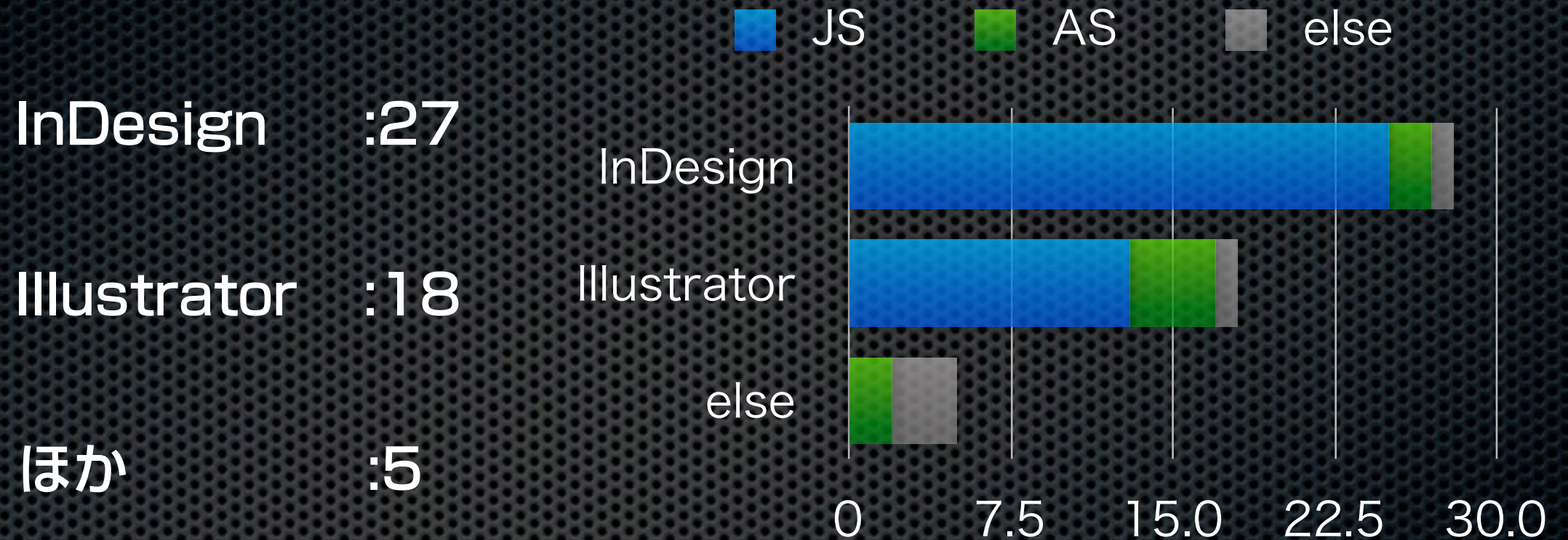
Illustrator :18

ほか :5

この勉強会のために前回の勉強会（3/7）からスクリプトをブログ
にアップし続けて



この勉強会のために前回の勉強会（3/7）からスクリプトをブログ
にアップし続けて



合計50のスクリプトをアップしました。

大阪DTP勉強会からさらに10増えました

よろしくお願いいたしますm(_ _)m

今日の内容は

今日の内容は

- スクリプトの紹介（ダウンロード・インストール）
- スクリプトの作成方法（ExtendScriptToolKit）
- スクリプトのカスタマイズ1
- スクリプトの読み方
- スクリプトのカスタマイズ2

スクリプトの紹介

これだけはおぼえて

スクリプトの紹介

これだけはおぼえて

ダウンロードとインストール

・ InDesignスクリプト

- ルビ、（1）の検索置換、再リンク、PDF配置、図とキャプの位置調整、個別に変形、繰り返し複製、訂正シール、表の便利ツール、表に長体。

• Illustrator スクリプト

- 線を範囲で選択、繰り返し複製、部分角版、エクセルグラフ整形、トンボ、さらにトンボの外にトンボ、数値地図をMapにする、重ね文字、Illustratorの配置に色付、excelをIllustratorの子組に流す

どんな作業が
スクリプトで出来るか

どんな作業が スクリプトで出来るか

- 手作業でできることはほとんどScriptで出来ます。

どんな作業が スクリプトで出来るか

- 手作業でできることはほとんどScriptで出来ます。
- 基準としては同じ作業を繰り返す場合や大量に処理がある場合（小
組みを大量に作るとか1000程度の画像の解像度を揃えるとか）

どんな作業が スクリプトで出来るか

- 手作業でできることはほとんどScriptで出来ます。
- 基準としては同じ作業を繰り返す場合や大量に処理がある場合（小
組みを大量に作るとか1000程度の画像の解像度を揃えるとか）
- コツとしてはショートカットでできればいいのと思う瞬間（表の
罫線の線幅変更のような良く使う処理とか書体指定などでの定型処
理など）

まずgoogleで検索します。基本機能で出来る場合があるので。なければスクリプトを作成します。

スクリプトの作成方法

これだけはおぼえて

スクリプトの作成方法

これだけはおぼえて

ExtendScript Toolkit2の起動と設定

参考書籍

InDesign自動処理実例集

参考サイト

山ほどあります。

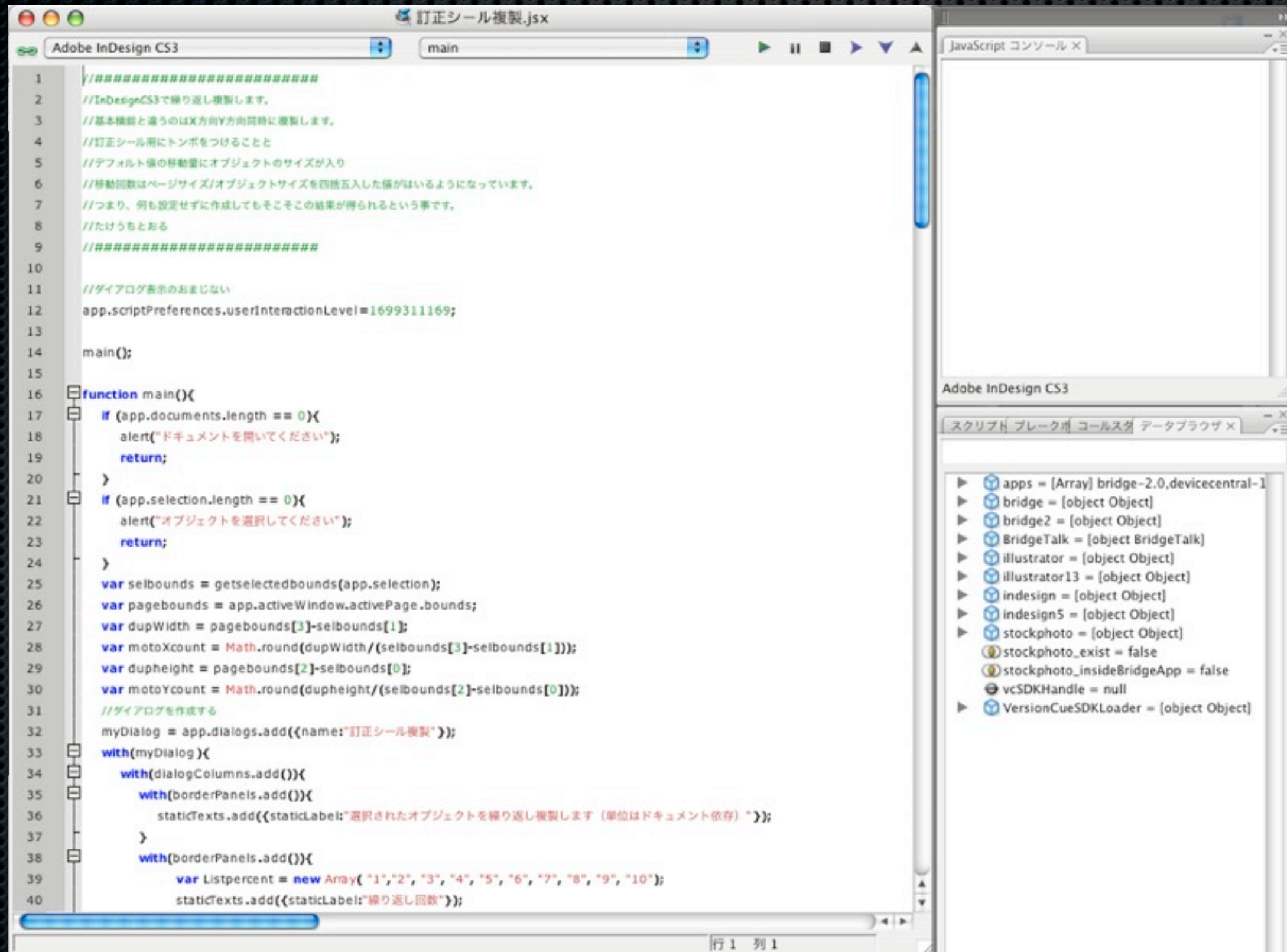
検索してみてください。

検索ワード

InDesign CS3 JavaScriptなど



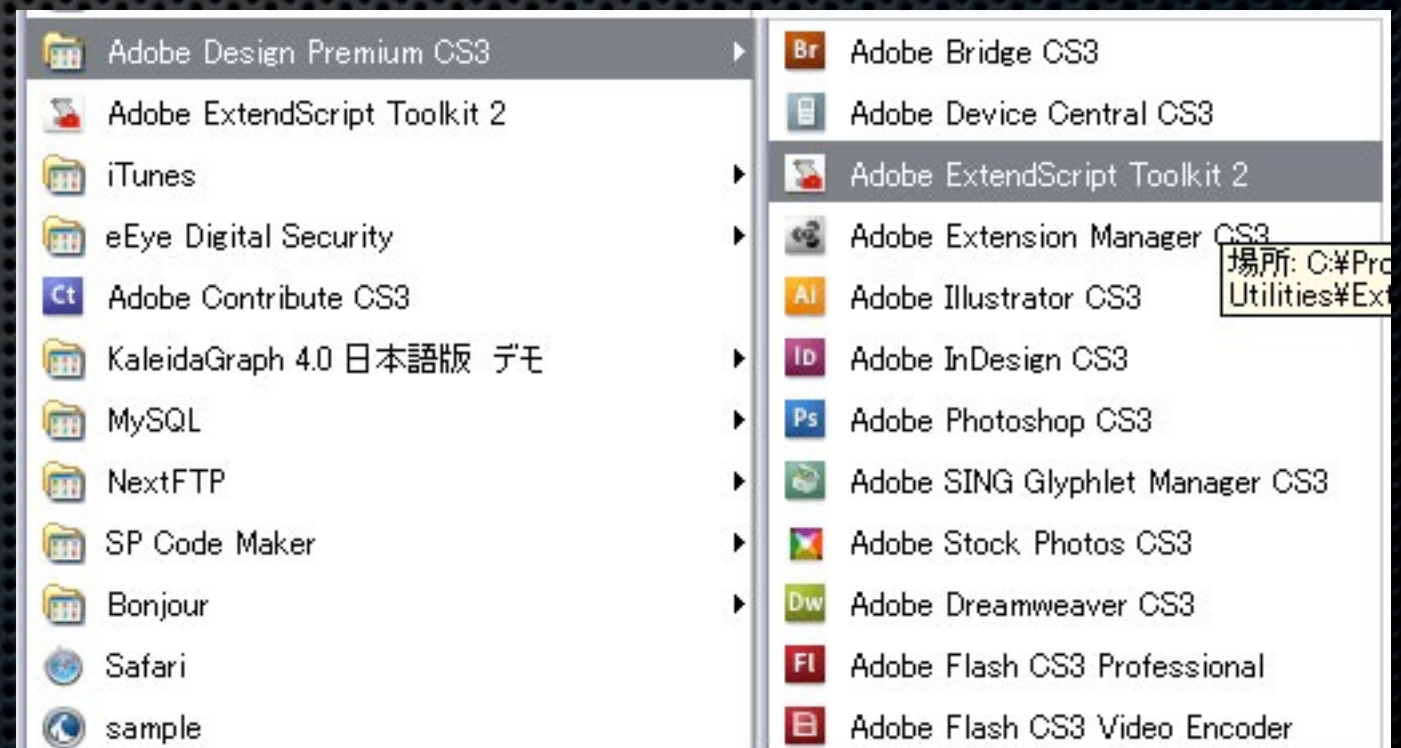
ExtendScript Toolkit2の使い方



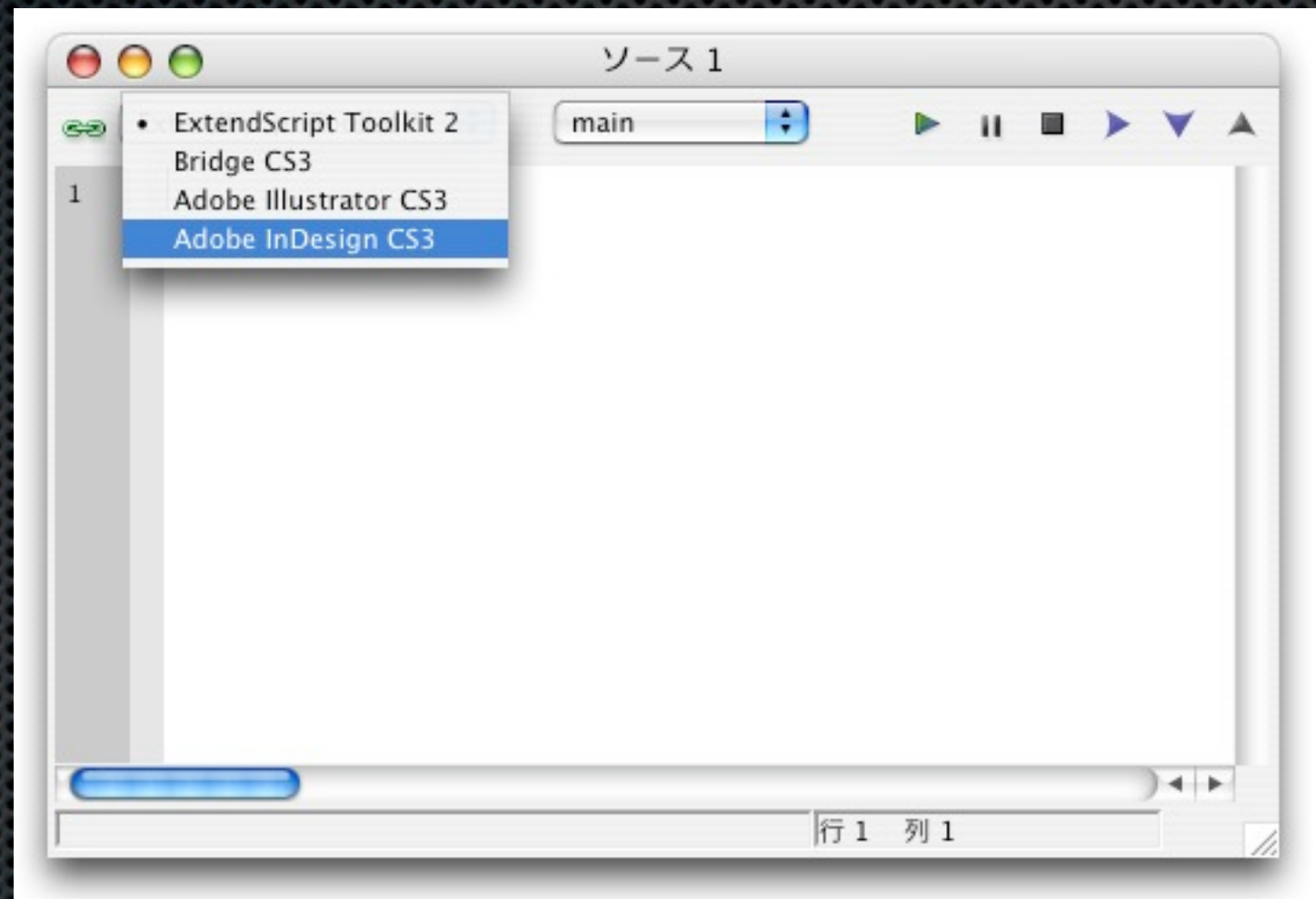
ExtendScript Toolkit2は
Macではアプリケーション:ユーティリティ:Adobe
ユーティリティにあります。



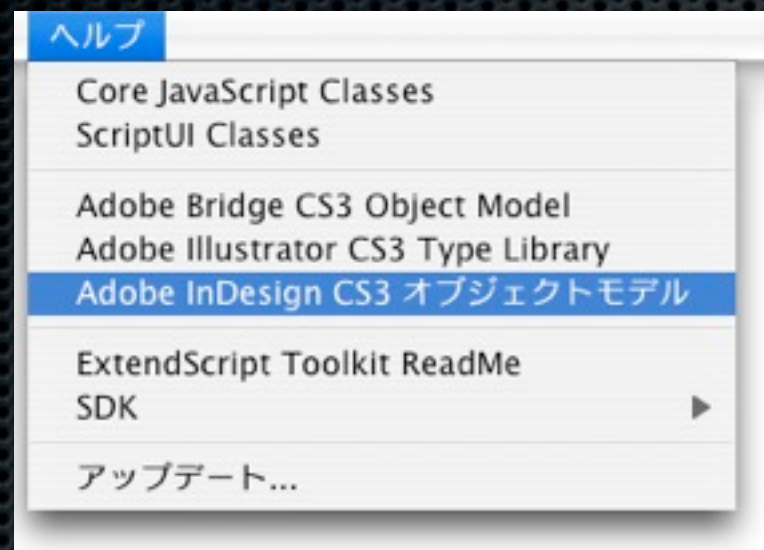
Winではスタートメ
ニューのAdobe
Design Premium
CS3の中にあります。



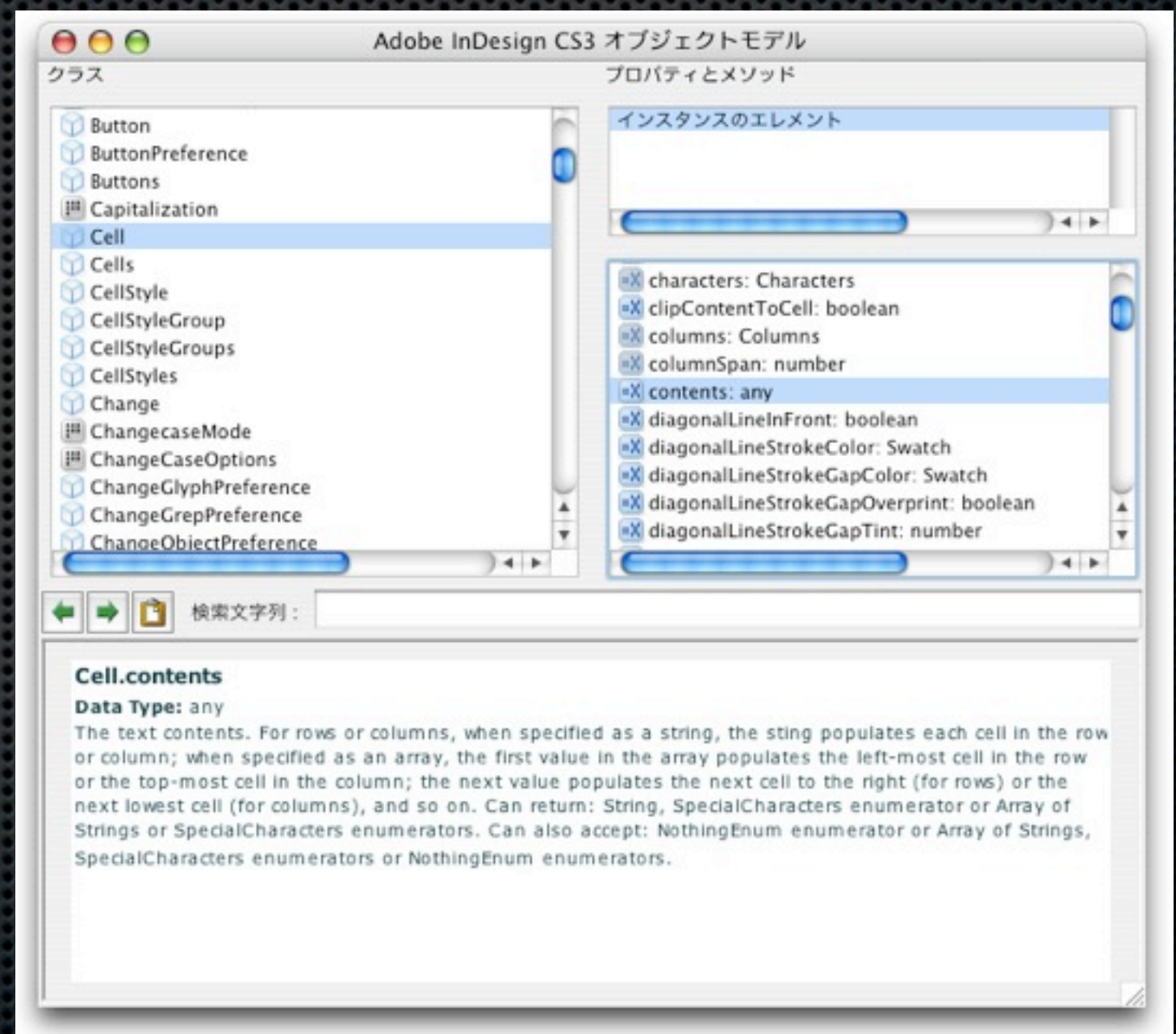
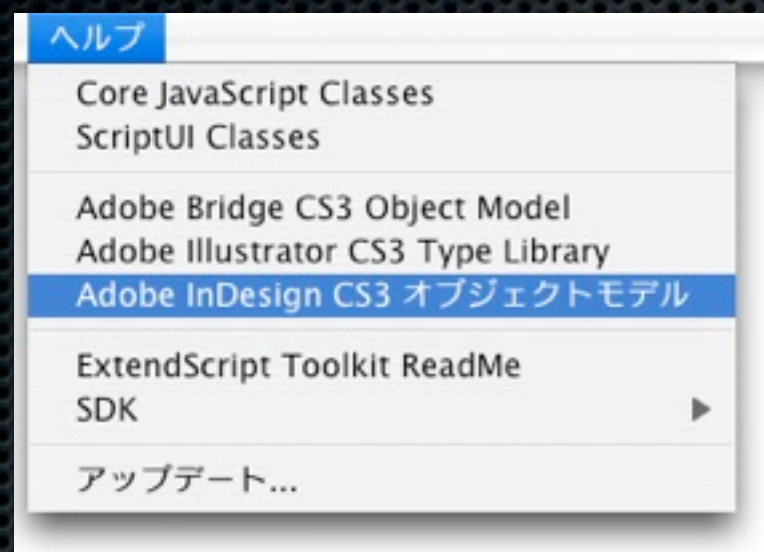
ソースのプルダウンを対象のアプリケーションにします。



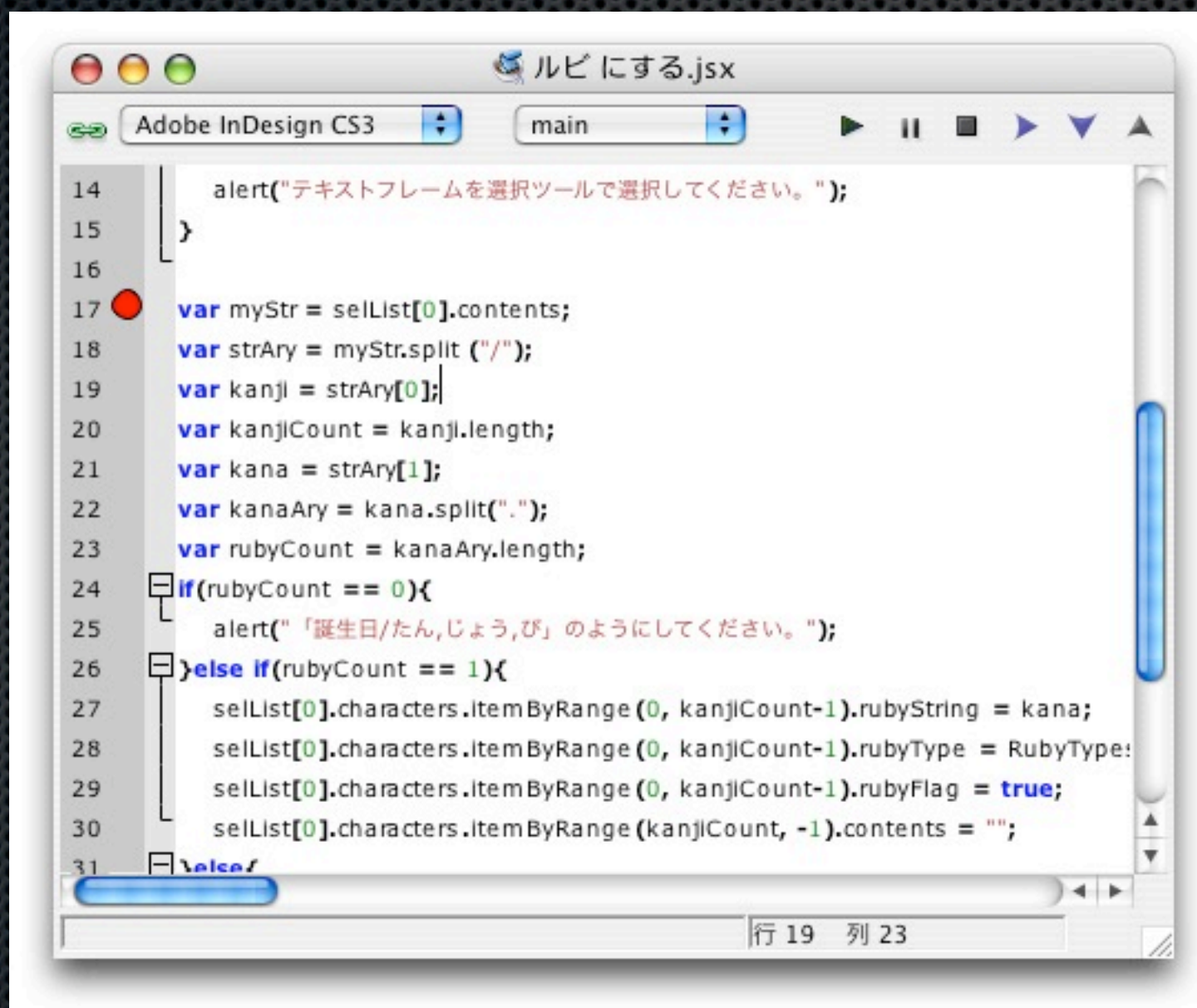
ヘルプからオブジェクトモデルを調べる ことができます。



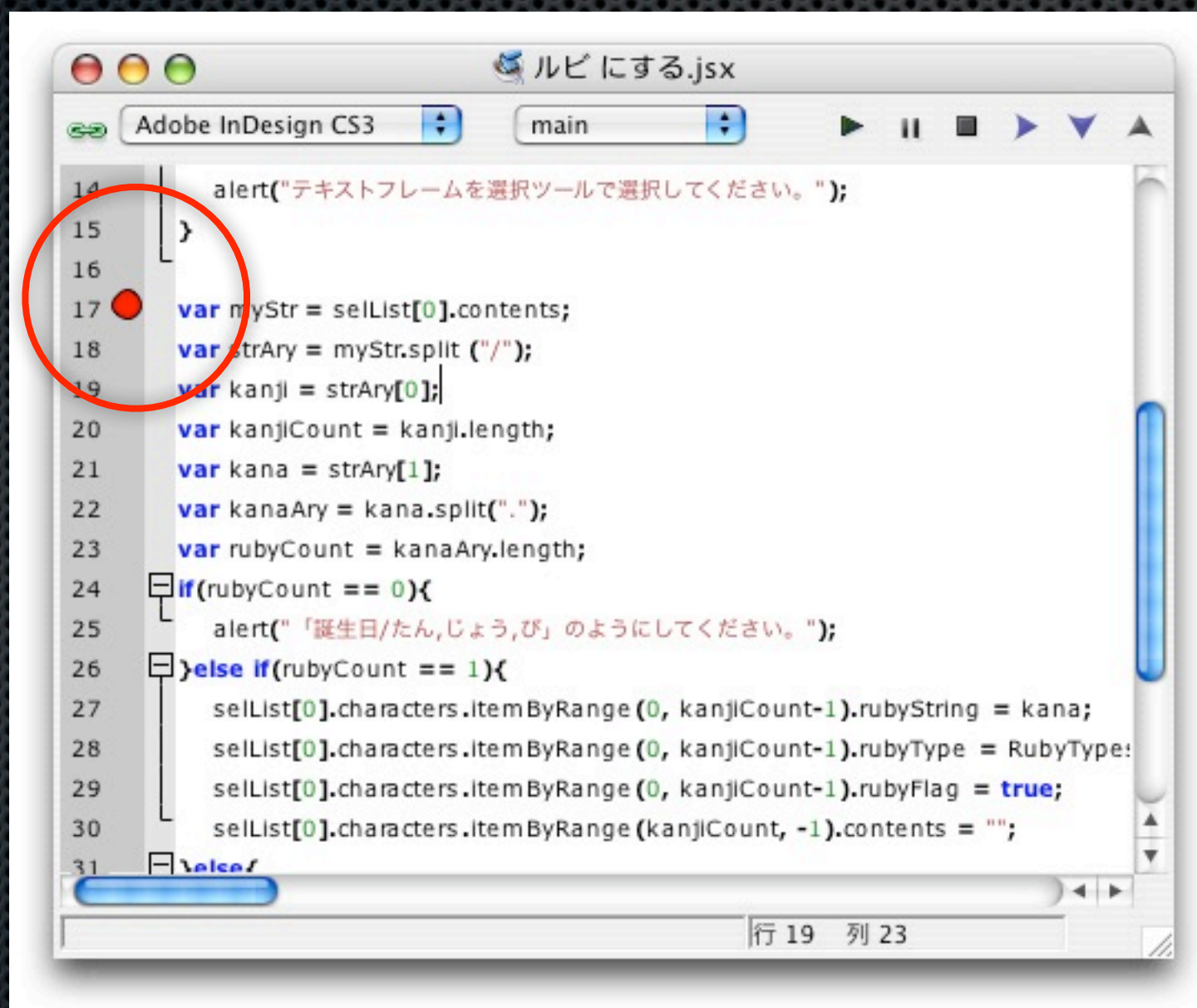
ヘルプからオブジェクトモデルを調べる ことができます。



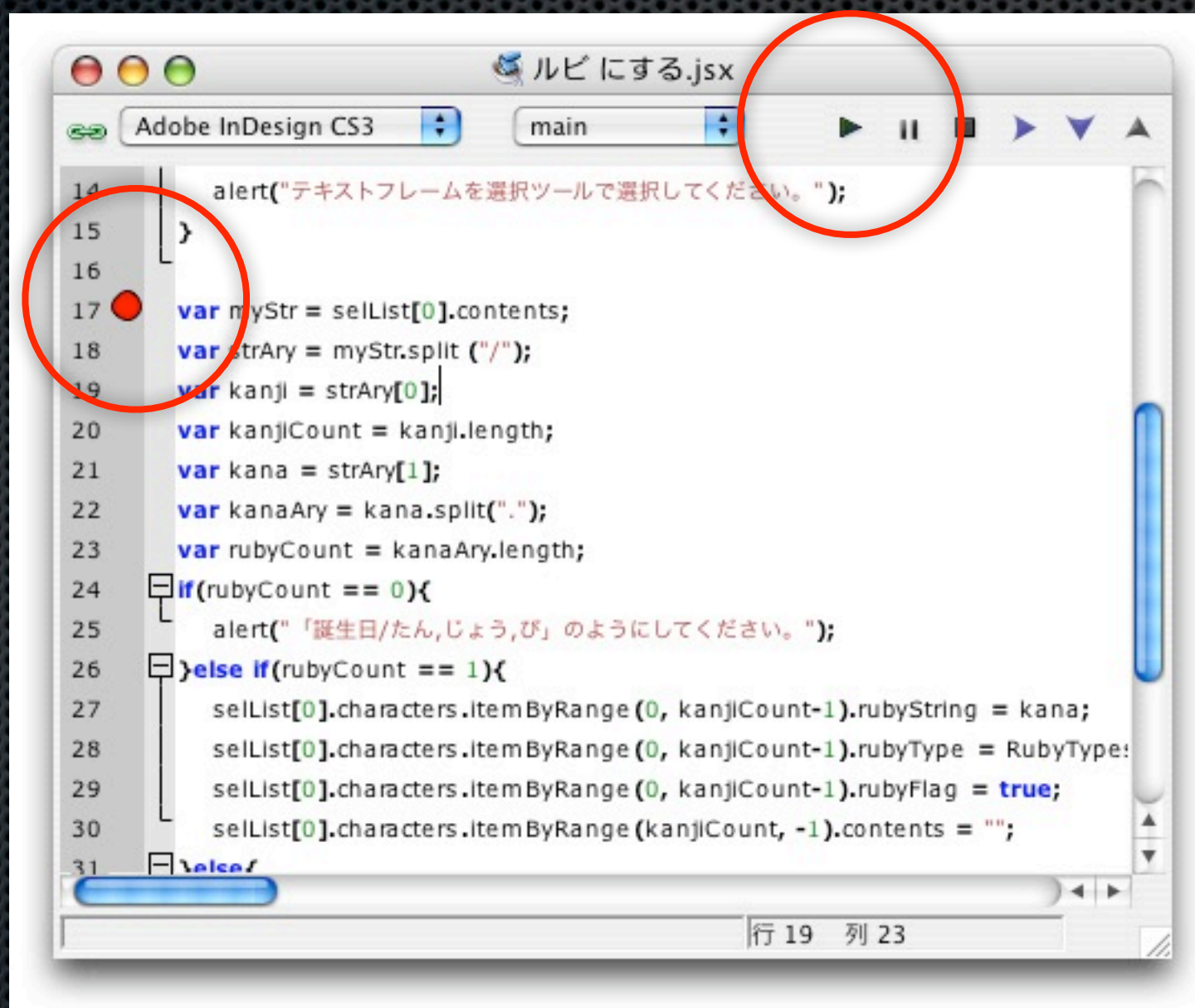
行をクリックするとブレークポイントを
設定する事が出来ます。再生ボタンをク



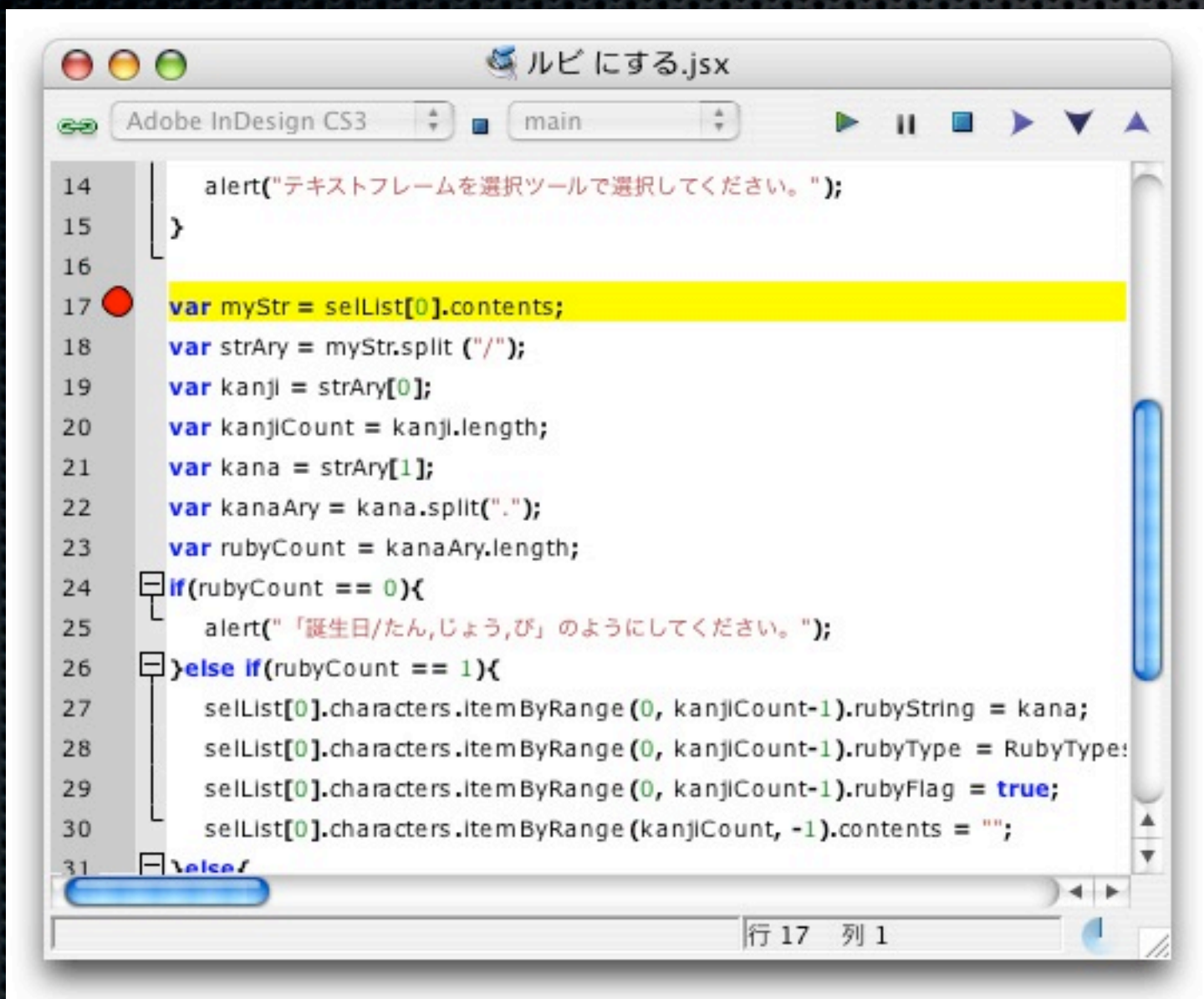
行をクリックするとブレークポイントを
設定する事が出来ます。再生ボタンをク



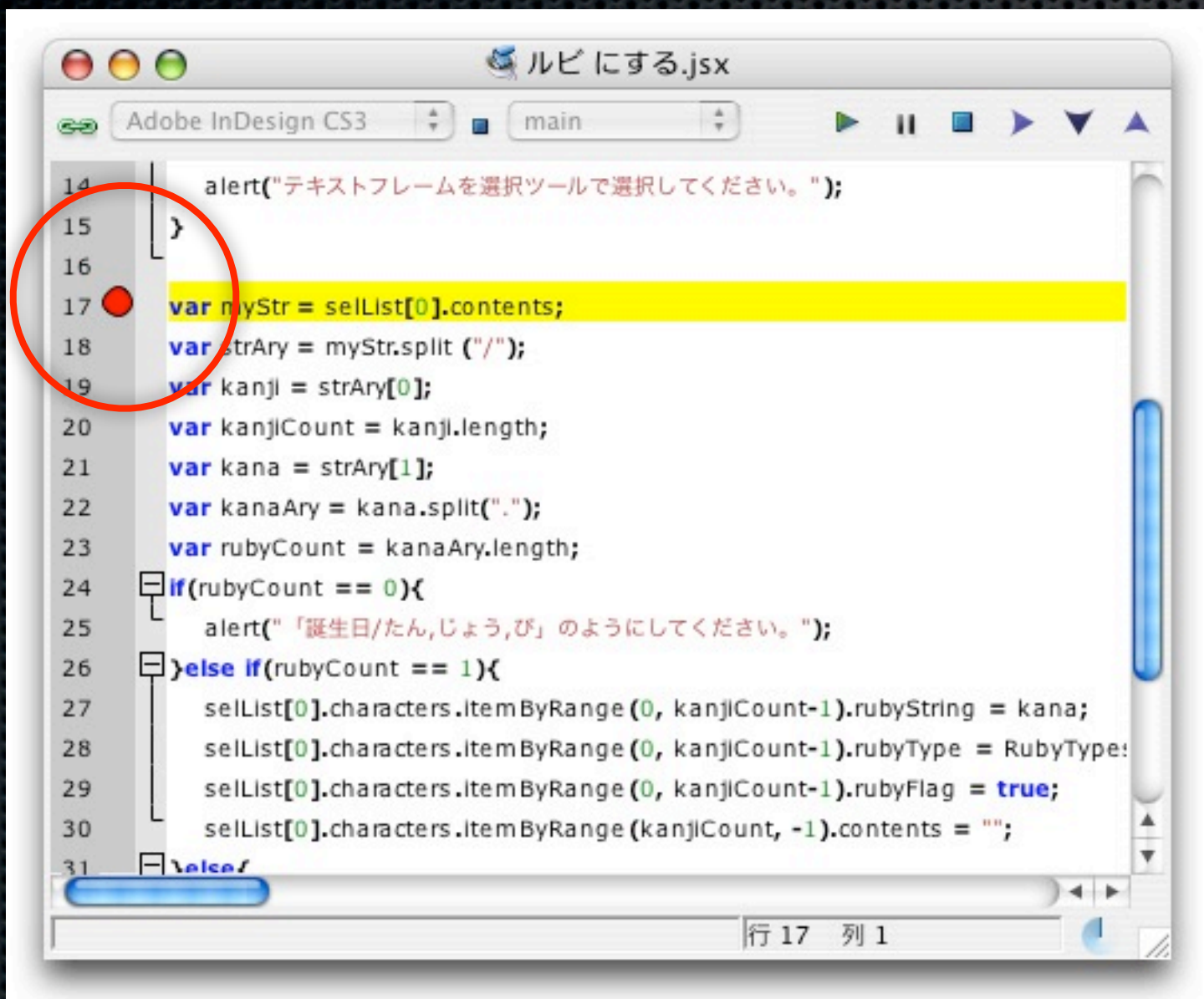
行をクリックするとブレイクポイントを
設定する事が出来ます。再生ボタンをク



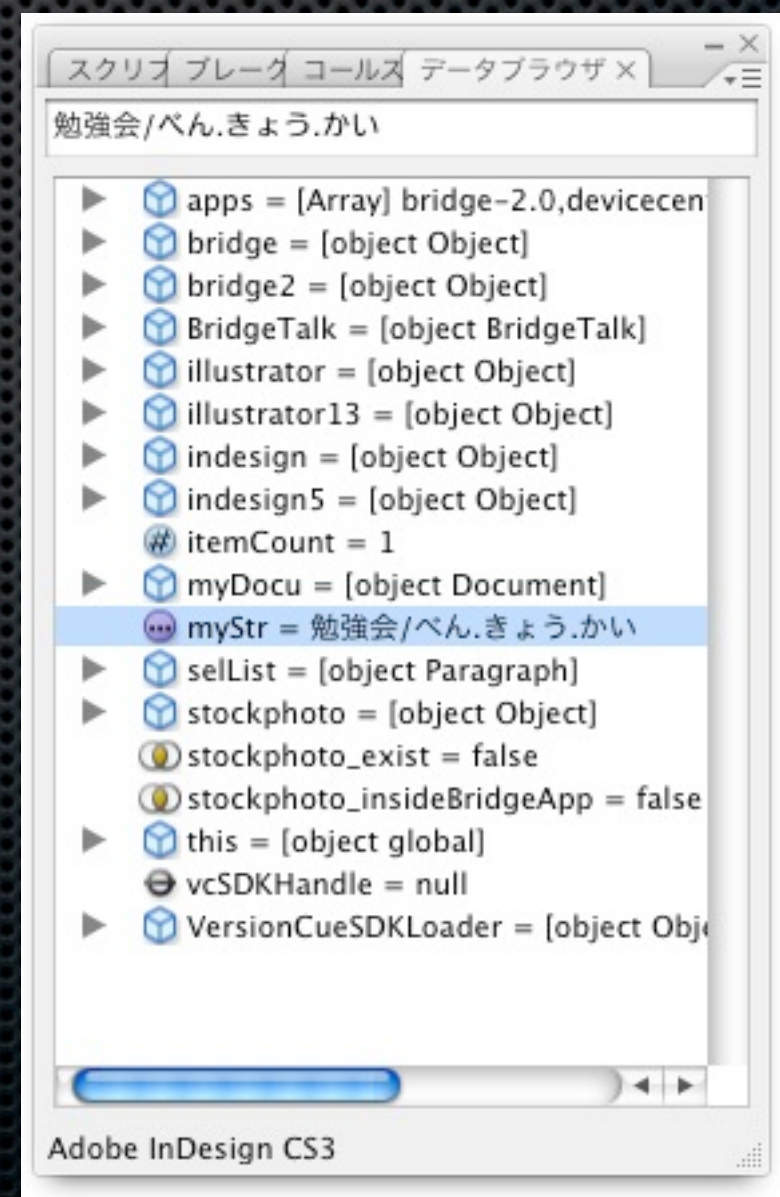
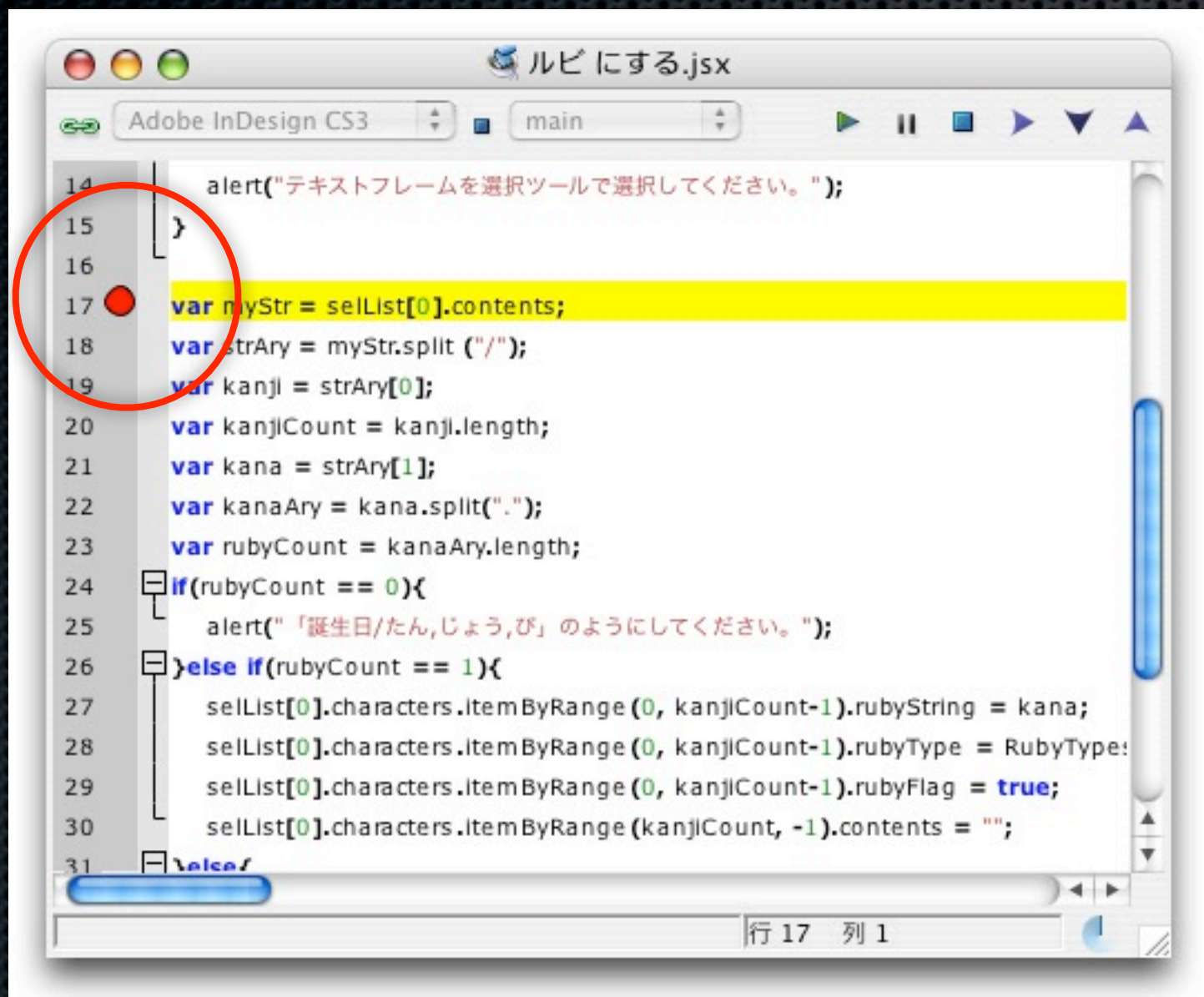
ステップ実行すると変数の値をデータブラウザで調べる事が出来ます。



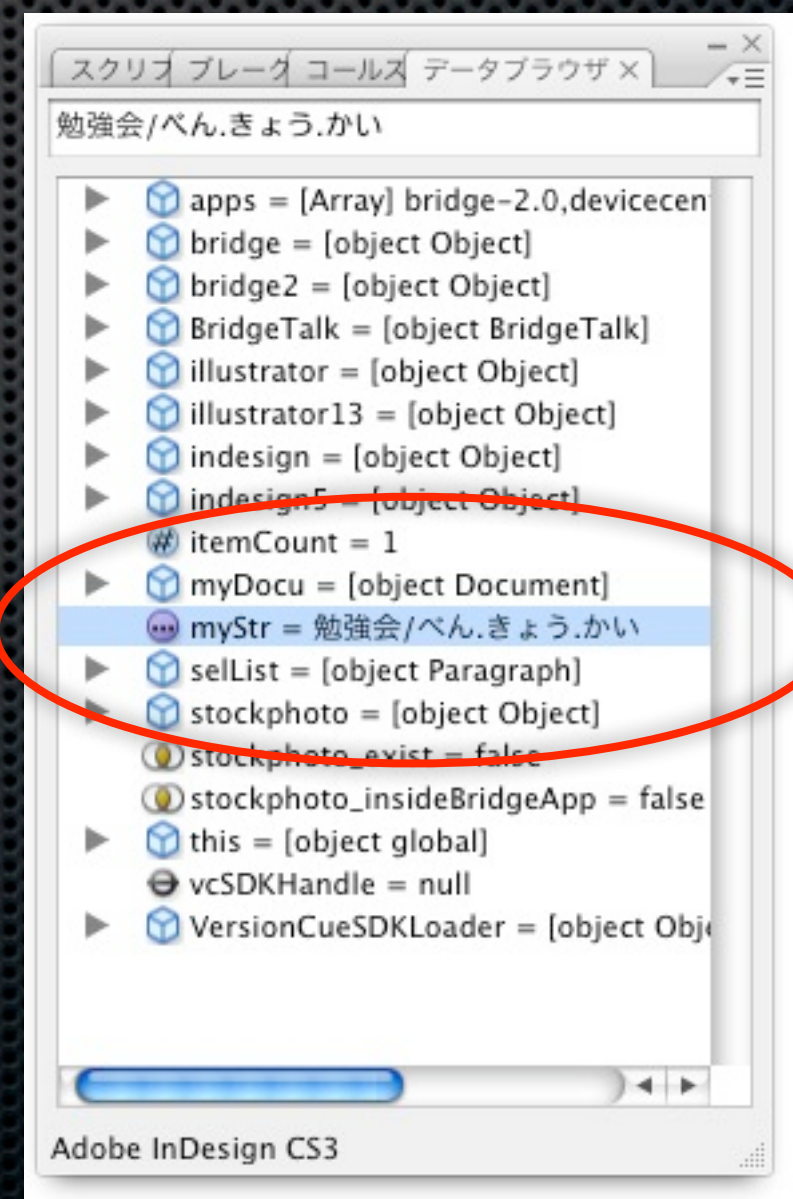
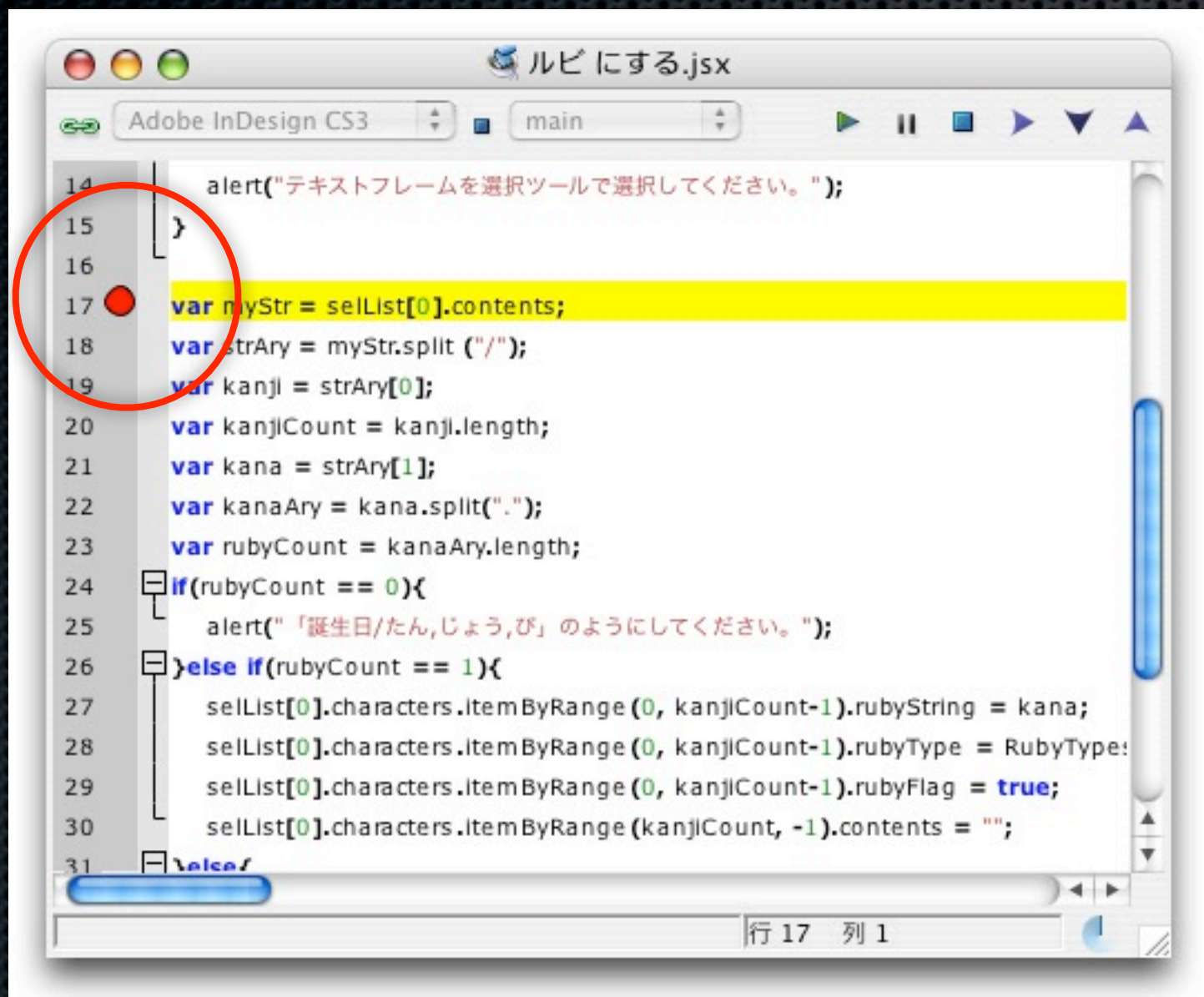
ステップ実行すると変数の値をデータブラウザで調べる事が出来ます。



ステップ実行すると変数の値をデータブラウザで調べる事が出来ます。



ステップ実行すると変数の値をデータブラウザで調べる事が出来ます。



Scriptの カスタマイズの仕方

これだけはおぼえて

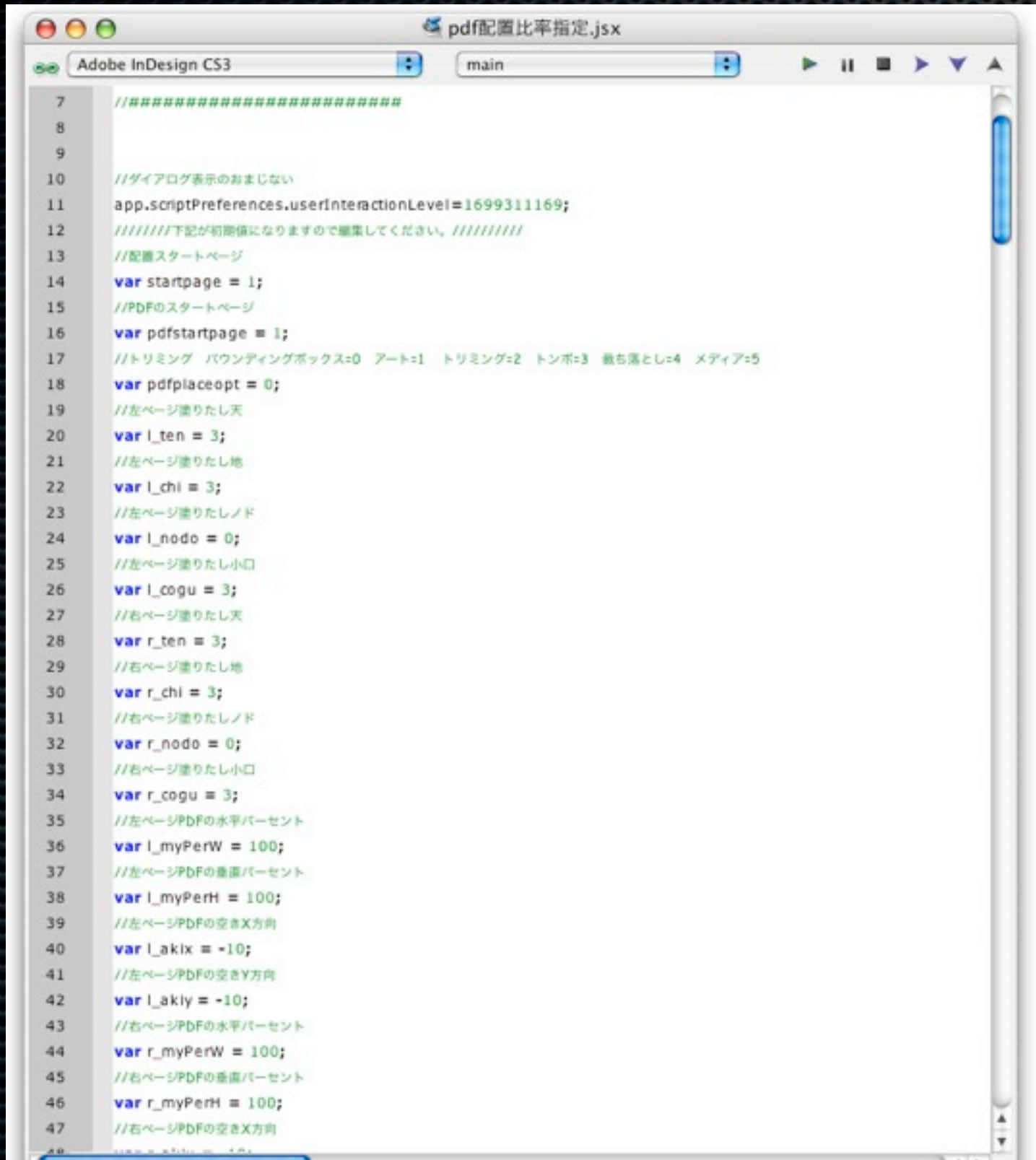
Scriptの カスタマイズの仕方

これだけはおぼえて

初期値を変更するだけで使いやすくなる

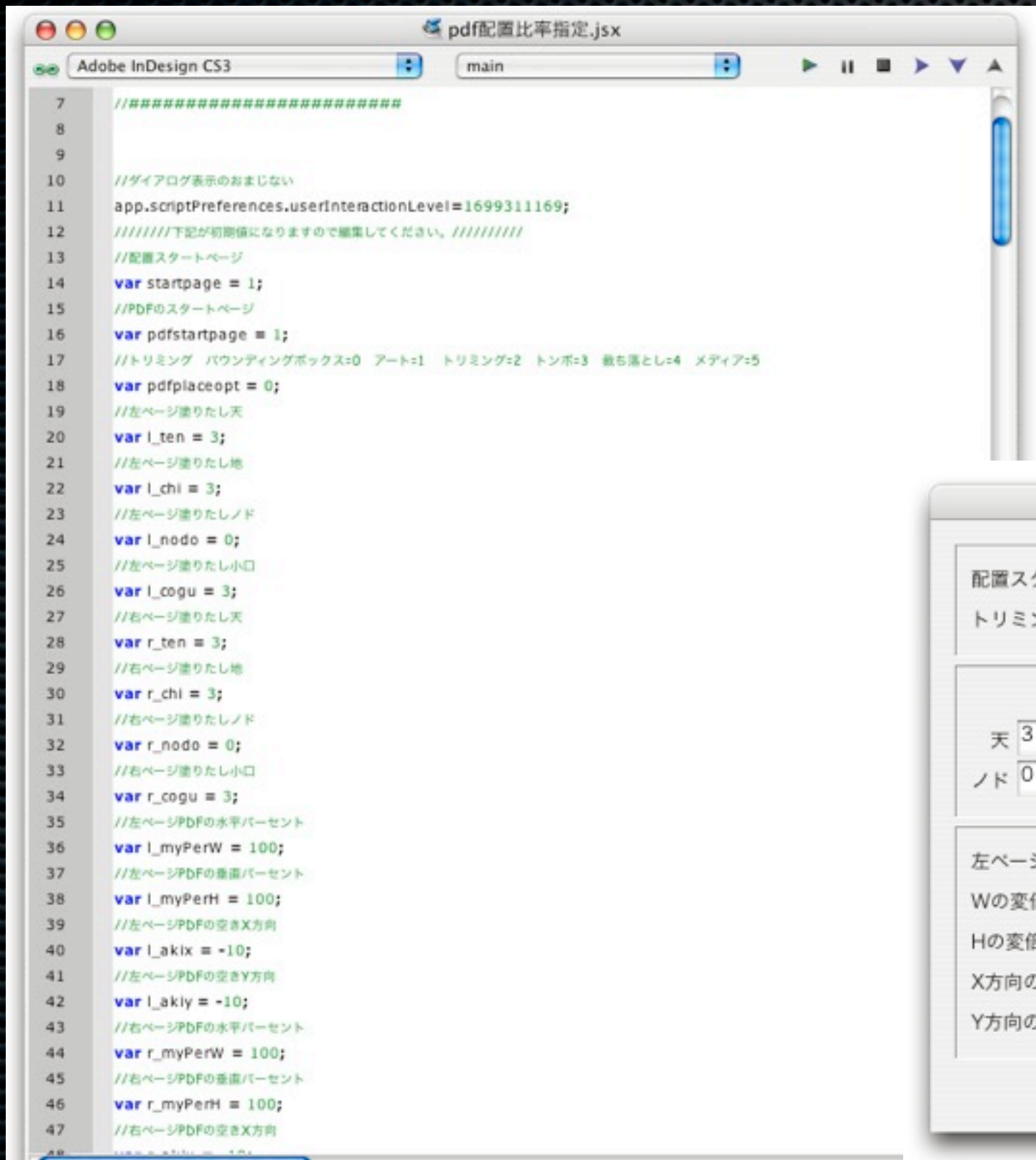
- Scriptのカスタマイズの仕方
PDF配置（初期値を変更）
検索置換（検索文字、置換文字を変更）
- 上達のコツ
とにかく書く事です。

pdf配置比率またはFIT.jsx 実行すると



```
7 // *****
8
9
10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 3;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 3;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 3;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 3;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 3;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 3;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
37 //左ページPDFの垂直パーセント
38 var l_myPerH = 100;
39 //左ページPDFの空きX方向
40 var l_aklx = -10;
41 //左ページPDFの空きY方向
42 var l_akly = -10;
43 //右ページPDFの水平パーセント
44 var r_myPerW = 100;
45 //右ページPDFの垂直パーセント
46 var r_myPerH = 100;
47 //右ページPDFの空きX方向
```


pdf配置比率またはFIT.jsx 実行すると



```
7 // *****
8
9
10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13
14 //配置スタートページ
15 var startpage = 1;
16 //PDFのスタートページ
17 var pdfstartpage = 1;
18 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 最も落とし=4 メディア=5
19 var pdfplaceopt = 0;
20 //左ページ塗りたし天
21 var l_ten = 3;
22 //左ページ塗りたし地
23 var l_chi = 3;
24 //左ページ塗りたしノド
25 var l_nodo = 0;
26 //左ページ塗りたし小口
27 var l_cogu = 3;
28 //右ページ塗りたし天
29 var r_ten = 3;
30 //右ページ塗りたし地
31 var r_chi = 3;
32 //右ページ塗りたしノド
33 var r_nodo = 0;
34 //右ページ塗りたし小口
35 var r_cogu = 3;
36 //左ページPDFの水平パーセント
37 var l_myPerW = 100;
38 //左ページPDFの垂直パーセント
39 var l_myPerH = 100;
40 //左ページPDFの空きX方向
41 var l_aklx = -10;
42 //左ページPDFの空きY方向
43 var l_akly = -10;
44 //右ページPDFの水平パーセント
45 var r_myPerW = 100;
46 //右ページPDFの垂直パーセント
47 var r_myPerH = 100;
48 //右ページPDFの空きX方向
```

PDFをInDesignに配置します。

配置スタートページ PDFのスタートページ

トリミング

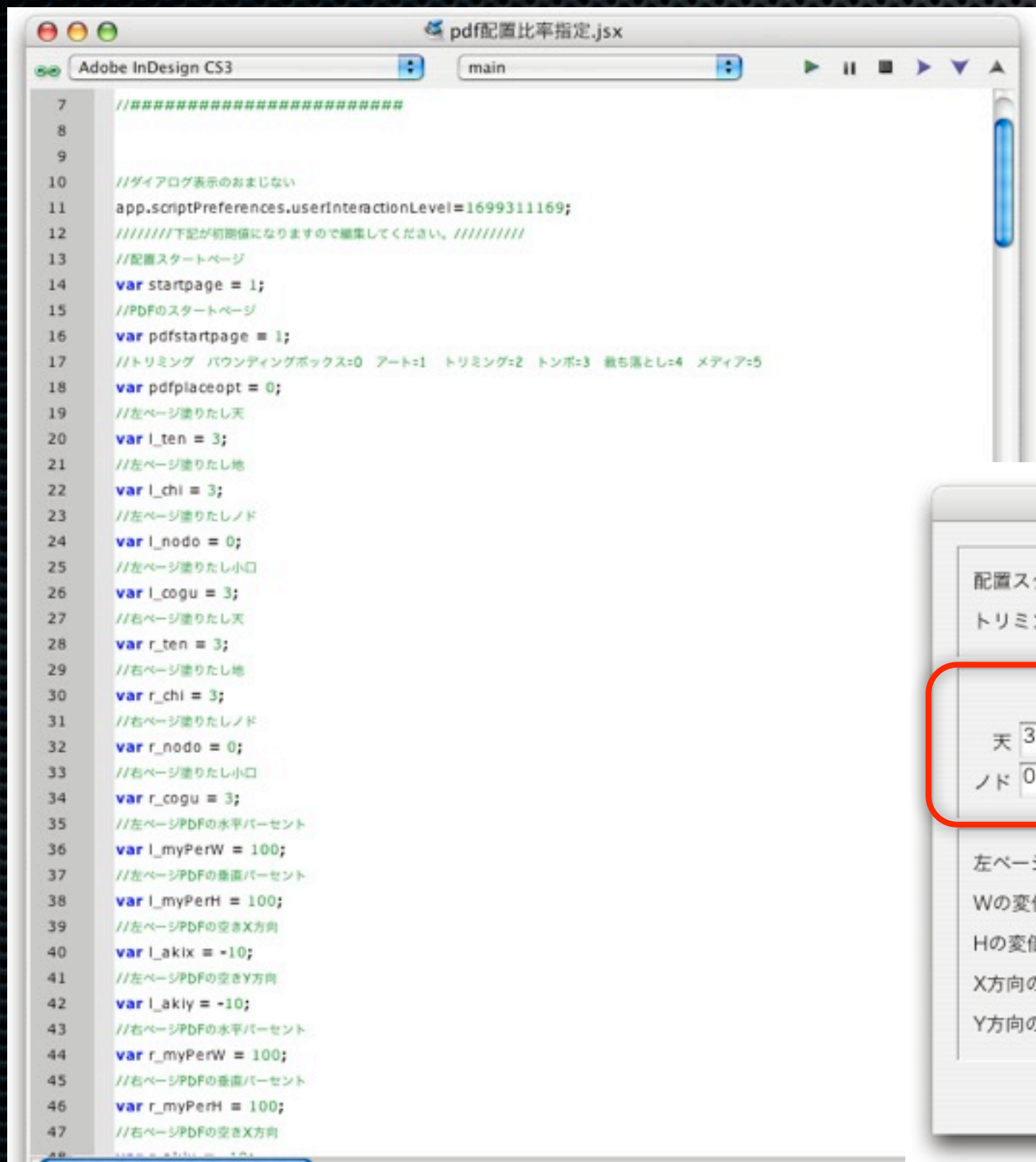
OK
キャンセル

左ページの塗り足し		右ページの塗り足し	
天	3 mm	天	3 mm
地	3 mm	地	3 mm
ノド	0 mm	ノド	0 mm
小口	3 mm	小口	3 mm

左ページPDFの配置方法	右ページPDFの配置方法
Wの変倍率 100%	Wの変倍率 100%
Hの変倍率 100%	Hの変倍率 100%
X方向の空き -10 mm	X方向の空き -10 mm
Y方向の空き -10 mm	Y方向の空き -10 mm

(C)2009 Toru Takeuchi このスクリプトはフリーウェアです。

pdf配置比率またはFIT.jsx 実行すると



```
7 // *****
8
9
10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;
12 //*****下記が初期値になりますので編集してください。*****
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 最も落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 3;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 3;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 3;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 3;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 3;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 3;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
37 //左ページPDFの垂直パーセント
38 var l_myPerH = 100;
39 //左ページPDFの空きX方向
40 var l_aklx = -10;
41 //左ページPDFの空きY方向
42 var l_akly = -10;
43 //右ページPDFの水平パーセント
44 var r_myPerW = 100;
45 //右ページPDFの垂直パーセント
46 var r_myPerH = 100;
47 //右ページPDFの空きX方向
```



PDFをInDesignに配置します。

配置スタートページ PDFのスタートページ

トリミング

OK

左ページの塗り足し		右ページの塗り足し	
天 3 mm	地 3 mm	天 3 mm	地 3 mm
ノド 0 mm	小口 3 mm	ノド 0 mm	小口 3 mm

左ページPDFの配置方法	右ページPDFの配置方法
Wの変倍率 100%	Wの変倍率 100%
Hの変倍率 100%	Hの変倍率 100%
X方向の空き -10 mm	X方向の空き -10 mm
Y方向の空き -10 mm	Y方向の空き -10 mm

(C)2009 Toru Takeuchi このスクリプトはフリーウェアです。

初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。



```
pdf配置比率指定.jsx
Adobe InDesign CS3  main
10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel = 1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 0;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 0;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 0;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 0;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 0;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 0;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
```


初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。



```
pdf配置比率指定.jsx
Adobe InDesign CS3
main
10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel = 1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 0;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 0;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 0;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 0;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 0;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 0;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
```


初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。



```
pdf配置比率指定.jsx
Adobe InDesign CS3
main
10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel = 1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 0;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 0;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 0;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 0;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 0;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 0;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
```


初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。



```
pdf配置比率指定.jsx
Adobe InDesign CS3
main

10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel = 1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 0;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 0;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 0;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 0;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 0;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 0;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
```


初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。



```
pdf配置比率指定.jsx
Adobe InDesign CS3
main

10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel = 1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 0;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 0;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 0;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 0;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 0;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 0;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
```


初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。

```
pdf配置比率指定.jsx
Adobe InDesign CS3
main
10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel = 1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 0;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 0;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 0;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 0;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 0;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 0;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
```


初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。

```
pdf配置比率指定.jsx
Adobe InDesign CS3
main

10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel = 1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 0;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 0;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 0;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 0;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 0;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 0;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
```


初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。



```
pdf配置比率指定.jsx
Adobe InDesign CS3
main

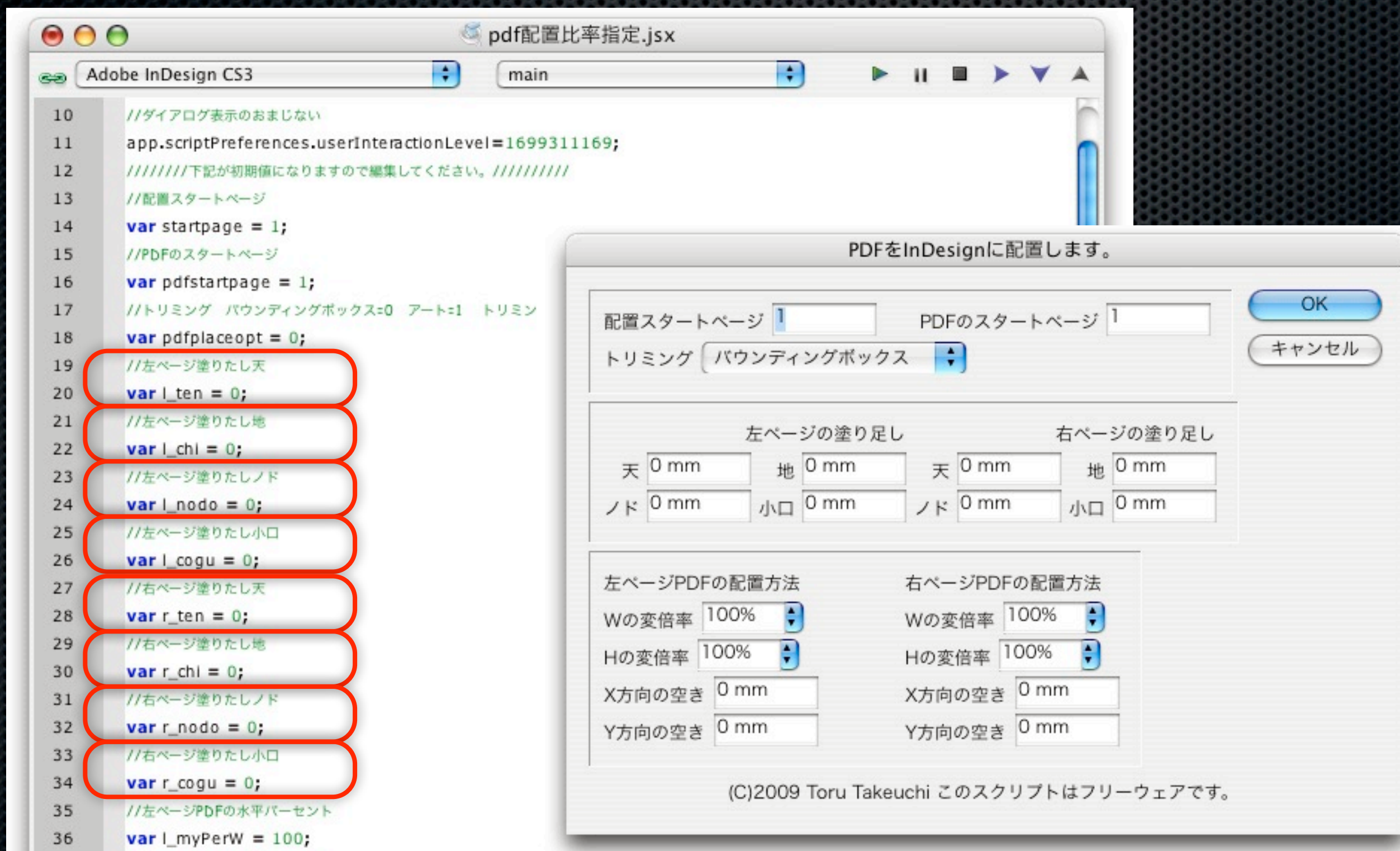
10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel = 1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 0;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 0;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 0;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 0;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 0;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 0;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
```


初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。

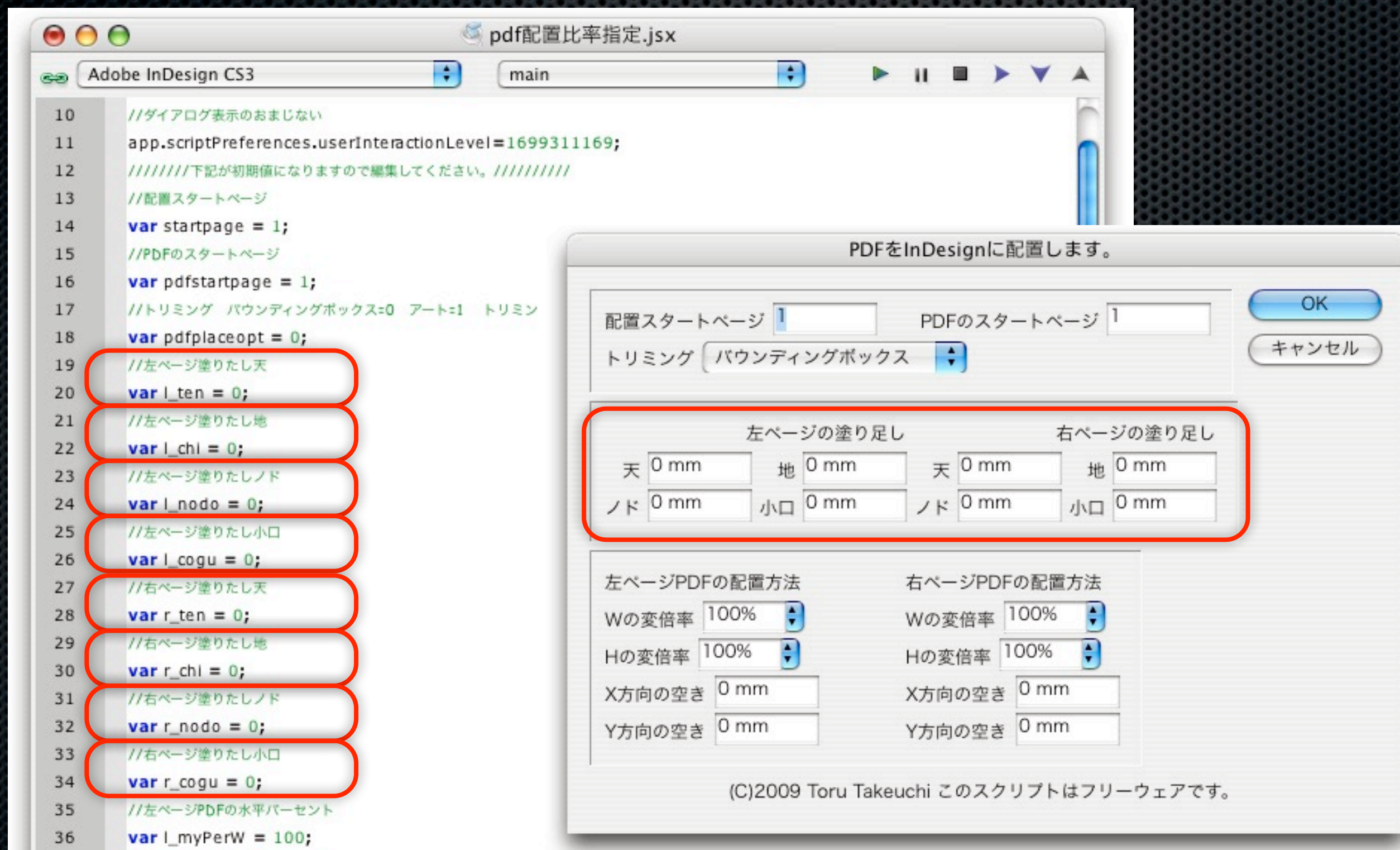


```
pdf配置比率指定.jsx
Adobe InDesign CS3
main
10 //ダイアログ表示のおまじない
11 app.scriptPreferences.userInteractionLevel = 1699311169;
12 //下記が初期値になりますので編集してください。
13 //配置スタートページ
14 var startpage = 1;
15 //PDFのスタートページ
16 var pdfstartpage = 1;
17 //トリミング パウンディングボックス=0 アート=1 トリミング=2 トンボ=3 裁ち落とし=4 メディア=5
18 var pdfplaceopt = 0;
19 //左ページ塗りたし天
20 var l_ten = 0;
21 //左ページ塗りたし地
22 var l_chi = 0;
23 //左ページ塗りたしノド
24 var l_nodo = 0;
25 //左ページ塗りたし小口
26 var l_cogu = 0;
27 //右ページ塗りたし天
28 var r_ten = 0;
29 //右ページ塗りたし地
30 var r_chi = 0;
31 //右ページ塗りたしノド
32 var r_nodo = 0;
33 //右ページ塗りたし小口
34 var r_cogu = 0;
35 //左ページPDFの水平パーセント
36 var l_myPerW = 100;
```


初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。



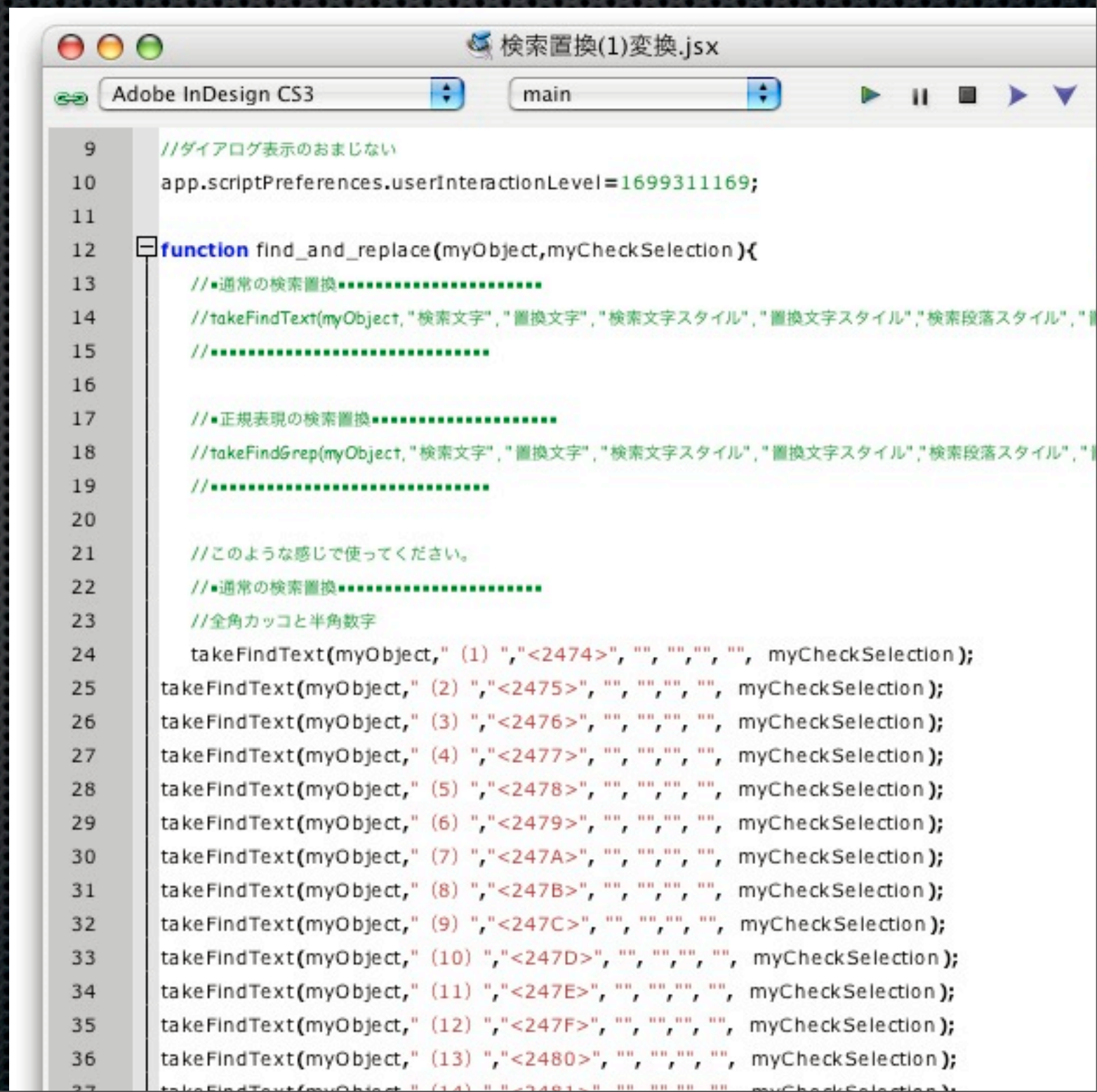
初期値を入力するとダイアログの内容を変える事が出来ます。



検索置換(1)変換.jsx

これは (1) を①に検索置換するスクリプトです。

(1) を①に
検索置換する
ようにカスタ
マイズしてみ
ます。



```
9 //ダイアログ表示のおまじない
10 app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;
11
12 function find_and_replace(myObject,myCheckSelection){
13     //■通常の検索置換.....
14     //takeFindText(myObject,"検索文字","置換文字","検索文字スタイル","置換文字スタイル","検索段落スタイル","置換段落スタイル");
15     //.....
16
17     //■正規表現の検索置換.....
18     //takeFindGrep(myObject,"検索文字","置換文字","検索文字スタイル","置換文字スタイル","検索段落スタイル","置換段落スタイル");
19     //.....
20
21     //このような感じで使ってください。
22     //■通常の検索置換.....
23     //全角カッコと半角数字
24     takeFindText(myObject," (1) ","<2474>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
25     takeFindText(myObject," (2) ","<2475>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
26     takeFindText(myObject," (3) ","<2476>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
27     takeFindText(myObject," (4) ","<2477>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
28     takeFindText(myObject," (5) ","<2478>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
29     takeFindText(myObject," (6) ","<2479>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
30     takeFindText(myObject," (7) ","<247A>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
31     takeFindText(myObject," (8) ","<247B>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
32     takeFindText(myObject," (9) ","<247C>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
33     takeFindText(myObject," (10) ","<247D>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
34     takeFindText(myObject," (11) ","<247E>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
35     takeFindText(myObject," (12) ","<247F>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
36     takeFindText(myObject," (13) ","<2480>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
37     takeFindText(myObject," (14) ","<2481>"," "," "," "," ", myCheckSelection);
```



```
takeFindText(myObject," (1) "<2474>","","","","";  
myCheckSelection);
```

の" (1) "が検索文字

"<2474>"が置換するUnicodeの番号です。

InDesignの字形パレットで①の番号を調べます。



下記のように入力して実行すると検索置換できました。

```
9 //ダイアログ表示のおまじない
10 app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;
11
12 function find_and_replace(myObject,myCheckSelection){
13     //■通常の検索置換.....
14     //takeFindText(myObject,"検索文字","置換文字","検索文字スタイル","置換文字スタイル","検索段落スタイル","置
15     //.....
16
17     //■正規表現の検索置換.....
18     //takeFindGrep(myObject,"検索文字","置換文字","検索文字スタイル","置換文字スタイル","検索段落スタイル","置
19     //.....
20
21     //このような感じで使ってください。
22     //■通常の検索置換.....
23     //全角カッコと半角数字
24     takeFindText(myObject,"(1)","<2460>","","","","myCheckSelection");
25     takeFindText(myObject,"(2)","<2461>","","","","myCheckSelection");
26     takeFindText(myObject,"(3)","<2462>","","","","myCheckSelection");
27     takeFindText(myObject,"(4)","<2463>","","","","myCheckSelection");
28     takeFindText(myObject,"(5)","<2464>","","","","myCheckSelection");
29     takeFindText(myObject,"(6)","<2465>","","","","myCheckSelection");
30     takeFindText(myObject,"(7)","<2466>","","","","myCheckSelection");
31     takeFindText(myObject,"(8)","<2467>","","","","myCheckSelection");
32     takeFindText(myObject,"(9)","<2468>","","","","myCheckSelection");
33     takeFindText(myObject,"(10)","<2469>","","","","myCheckSelection");
```


下記のように入力して実行すると検索置換できました。

(1) (2) あああああ

①② あああああ

Scriptの読み方

これだけはおぼえて

Scriptの読み方

これだけはおぼえて

Scriptの流れ

名もないテクノ手

セル内のオーバーフローを解消するスクリプト

[http://d.hatena.ne.jp/seuzo/
20080923/1222106561](http://d.hatena.ne.jp/seuzo/20080923/1222106561)

を見てみましょう


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ ㄣ ㄣ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```


選択範囲を取り出す

```
var sel = app.activeDocument.selection[0];  
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {  
    var txtObj = sel.cells[i];  
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];  
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){  
        txtObj.recompose();//★ここ  
        if (txtObj.overflows == false) {break}  
        danraku.horizontalScale = w;  
    }  
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ ㇏ ㇏
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
```

```
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
```

繰り返し

```
    var txtObj = sel.cells[i];
```

```
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
```

```
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
```

```
        txtObj.recompose();//★ここ
```

```
        if (txtObj.overflows == false) {break}
```

```
        danraku.horizontalScale = w;
```

```
    }
```

```
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ ㄣ ㄣ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];      セルを取り出す
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ ㄣ ㄣ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1]; 段落を取り出す
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ ㇏ ㇏
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```

繰り返し


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ ㄣ ㄣ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```

長体をかける


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ ㄣ ㄣ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```

もしオーバフローしていなかったら


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ ㇏ ㇏
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w; 繰り返しSTOP
    }
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ ㇏ ㇏
        if (txtObj.overflows == false) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
```


Scriptのカスタマイズ

これだけはおぼえて

Scriptのカスタマイズ

これだけはおぼえて

おもしろいところはここまで！

ここからはかなり難しいです。

セル内のオーバーフローではなく
1行に収まっていらない行を
解消するスクリプトに改造


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```

段落


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
            danraku.horizontalScale = w;
        }
    }
}
```

行


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```

段落内容


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```

行の内容


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```

違うなら長体


```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w; 同じなら終わり
    }
}
}
```



```
var sel = app.activeDocument.selection[0];
for (var i = 0; i < sel.cells.length; i++) {
    var txtObj = sel.cells[i];
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
    var gyou = txtObj.lines[-1];
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
        txtObj.recompose();//★ここ
        var danraku_str = danraku.contents;
        var gyou_str = gyou.contents;
        if (danraku_str == gyou_str) {break}
        danraku.horizontalScale = w;
    }
}
}
```


エラー処理を入れてみる


```

//ダイアログ表示のおまじない
app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;

main();

function main(){
    if (app.documents.length == 0){
        alert("ドキュメントを開いてください");
        return;
    }
    if (app.selection.length == 0){
        alert("セルを選択してください");
        return;
    }
    myDocu = app.activeDocument;
    mySele = myDocu.selection;
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){
        table_choutai(app.selection[s]);
    }
}

function table_choutai(myObj){
    var seltype = myObj.constructor.name
    if(seltype == "Cell"){
        table_choutai2(myObj);
    }
}

//ここから下が市川せうぞーさんの名もないテクノ手を参考にしています。
function table_choutai2(myObj){
    for (var i = 0; i < myObj.cells.length; i++) {
        var txtObj = myObj.cells[i];
        var danraku = txtObj.paragraphs[-1];
        var gyou = txtObj.lines[-1];
        for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){
            //txtObj.recompose();//★ここ//このスクリプトの場合再評価は必要ないようだ。
            var danraku_str = danraku.contents;
            var gyou_str = gyou.contents;
            if (danraku_str == gyou_str) {break}
            danraku.horizontalScale = w;
        }
    }
}

```



```
//ダイアログ表示のおまじない  
app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;  
  
main();
```


//ダイアログ表示のおまじない

app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;

main();

main呼出


```
//ダイアログ表示のおまじない  
app.scriptPreferences.userInteractionLevel=1699311169;  
  
main();
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```

無ければ終了


```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```

選択


```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```

無ければ終了


```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;   ドキュメント  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s < app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```

選択範囲


```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);繰り返し  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```

table_choutai呼出


```
function main(){  
    if (app.documents.length == 0){  
        alert("ドキュメントを開いてください");  
        return;  
    }  
    if (app.selection.length == 0){  
        alert("セルを選択してください");  
        return;  
    }  
    myDocu = app.activeDocument;  
    mySele = myDocu.selection;  
    for(var s = 0; s<app.selection.length; s++){  
        table_choutai(app.selection[s]);  
    }  
}
```



```
function table_choutai(myObj){  
    var seltype = myObj.constructor.name  
    if(seltype == "Cell"){  
        table_choutai2(myObj);  
    }  
}
```



```
function table_choutai(myObj){
```

```
    var seltype = myObj.constructor.name; table_choutai 呼出された
```

```
    if(seltype == "Cell"){
```

```
        table_choutai2(myObj);
```

```
    }
```

```
}
```



```
function table_choutai(myObj){  
    var seltype = myObj.constructor.name  
    if(seltype == "Cell"){  
        table_choutai2(myObj);  
    }  
}
```



```
function table_choutai(myObj){
```

```
    var seltype = myObj.constructor.name
```

```
    if(seltype == "Cell"){
```

選択種類を調べる

```
        table_choutai2(myObj);
```

```
    }
```

```
}
```



```
function table_choutai(myObj){  
    var seltype = myObj.constructor.name  
    if(seltype == "Cell"){  
        table_choutai2(myObj);  
    }  
}
```



```
function table_choutai(myObj){  
    var seltype = myObj.constructor.name  
    if(seltype == "Cell"){  
        table_choutai2(myObj);    セルなら  
    }  
}
```



```
function table_choutai(myObj){  
    var seltype = myObj.constructor.name  
    if(seltype == "Cell"){  
        table_choutai2(myObj);  
    }  
}
```



```
function table_choutai(myObj){  
    var seltype = myObj.constructor.name  
    if(seltype == "Cell"){  
        table_choutai2(myObj);  
    }  
}
```

table_choutai2呼出


```
function table_choutai(myObj){  
    var seltype = myObj.constructor.name  
    if(seltype == "Cell"){  
        table_choutai2(myObj);  
    }  
}
```



```
//ここから下が市川せうぞーさんの  
//名もないテクノ手を参考にしています。  
function table_choutai2(myObj){  
  for (var i = 0; i < myObj.cells.length; i++) {  
    var txtObj = myObj.cells[i];  
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];  
    var gyou = txtObj.lines[-1];  
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){  
      //txtObj.recompose();//★ここ  
      var danraku_str = danraku.contents;  
      var gyou_str = gyou.contents;  
      if (danraku_str == gyou_str) {break}  
      danraku.horizontalScale = w;  
    }  
  }  
}
```


//ここから下が市川せうぞーさんの
//名もないテクノ手を参考にしています。

```
function table_choutai2(myObj){  
  for (var i = 0; i < myObj.cells.length; i++) {  
    var txtObj = myObj.cells[i];  
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];  
    var gyou = txtObj.lines[-1];  
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){  
      //txtObj.recompose();//★ここ  
      var danraku_str = danraku.contents;  
      var gyou_str = gyou.contents;  
      if (danraku_str == gyou_str) {break}  
      danraku.horizontalScale = w;  
    }  
  }  
}
```

table_choutai2が呼ばれた


```
//ここから下が市川せうぞーさんの  
//名もないテクノ手を参考にしています。  
function table_choutai2(myObj){  
    for (var i = 0; i < myObj.cells.length; i++) {  
        var txtObj = myObj.cells[i];  
        var danraku = txtObj.paragraphs[-1];  
        var gyou = txtObj.lines[-1];  
        for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){  
            //txtObj.recompose();//★ここ  
            var danraku_str = danraku.contents;  
            var gyou_str = gyou.contents;  
            if (danraku_str == gyou_str) {break}  
            danraku.horizontalScale = w;  
        }  
    }  
}
```


//ここから下が市川せうぞーさんの
//名もないテクノ手を参考にしています。

```
function table_choutai2(myObj){  
  for (var i = 0; i < myObj.cells.length; i++) {  
    var txtObj = myObj.cells[i];    cellが送られている  
    var danraku = txtObj.paragraphs[-1];  
    var gyou = txtObj.lines[-1];  
    for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){  
      //txtObj.recompose();//★ここ  
      var danraku_str = danraku.contents;  
      var gyou_str = gyou.contents;  
      if (danraku_str == gyou_str) {break}  
      danraku.horizontalScale = w;  
    }  
  }  
}
```



```
//ここから下が市川せうぞーさんの  
//名もないテクノ手を参考にしています。  
function table_choutai2(myObj){  
    for (var i = 0; i < myObj.cells.length; i++) {  
        var txtObj = myObj.cells[i];  
        var danraku = txtObj.paragraphs[-1];  
        var gyou = txtObj.lines[-1];  
        for (var w=danraku.horizontalScale; w >= 10; w--){  
            //txtObj.recompose();//★ここ  
            var danraku_str = danraku.contents;  
            var gyou_str = gyou.contents;  
            if (danraku_str == gyou_str) {break}  
            danraku.horizontalScale = w;  
        }  
    }  
}
```


さらに先の世界へ

これだけはおぼえて

さらに先の世界へ

これだけはおぼえて

こんなのもあるんだー。くらいで

突き詰めていくと
自動組版への移行できます。

123-da!の紹介
WordXMLの変換

ちょっとだけ未来のお話

IDML